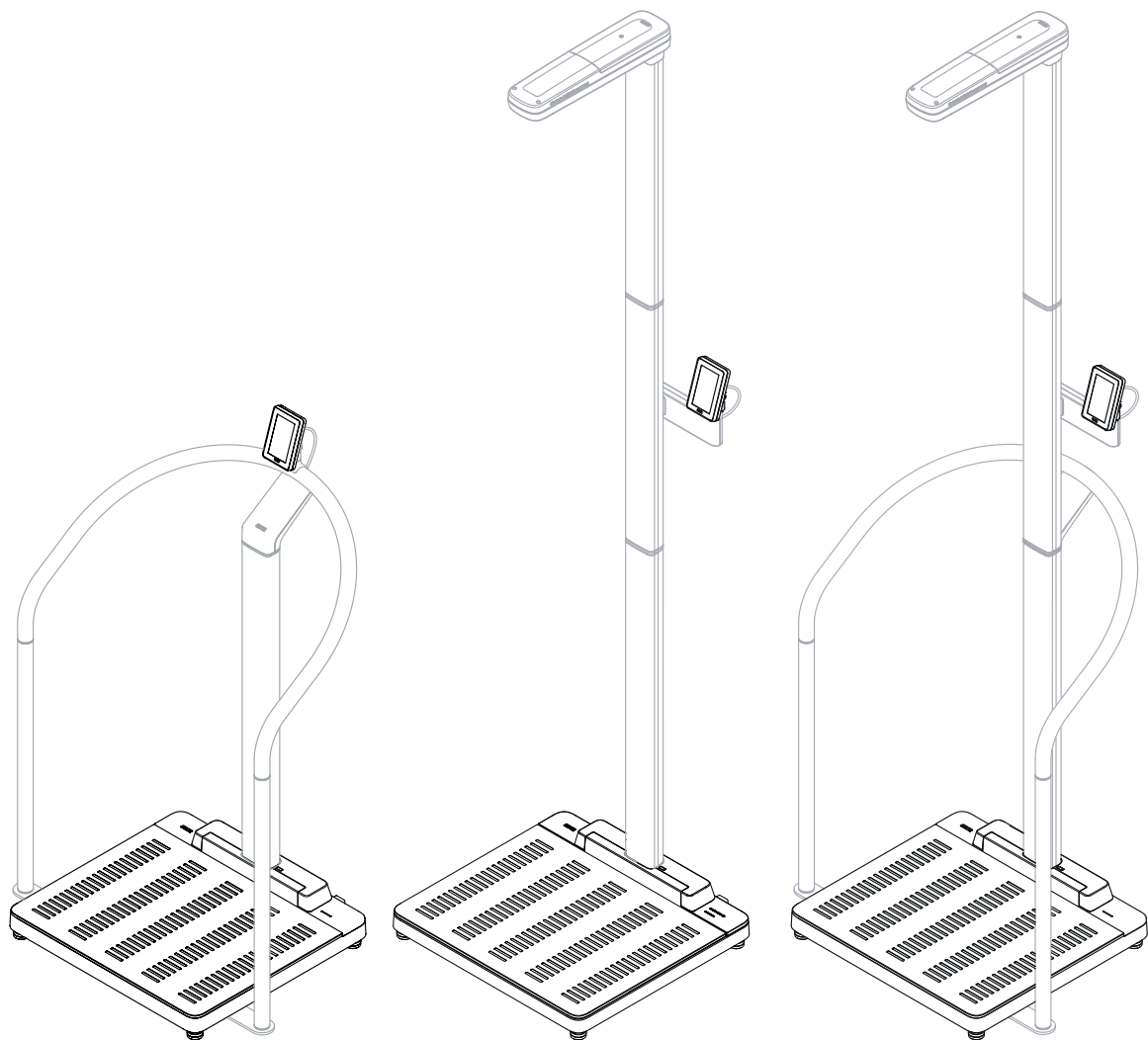


seca 655
seca 455
seca 257

商品番号: 17-10-07-654-016



目次

1. この文書について.....	4	6.6 測定プロセスの終了.....	32
1.1 各シンボルの説明.....	4	電子カルテシステムに接続されている製品.....	33
本文内の表示.....	4	ソフトウェア seca analytics 125 に接続されて	
図内の表示.....	4	いる製品.....	33
1.2 PDF 版.....	4	スタンドアロンでご使用の製品.....	33
2. 製品の説明.....	5	7. 環境設定.....	33
2.1 体重計の用途.....	5	7.1 基本機能.....	34
2.2 互換性のある seca 製品の用途.....	5	作動モードの変更.....	34
ハンドレール seca 455	5	メニューの呼出し / 終了.....	34
超音波式身長計 seca 257	5	取扱説明書の PDF 版にアクセスする	
2.3 機能の説明.....	5	(QR コード).....	35
体重測定 / 身長の入力.....	5	7.2 測定.....	35
体重と身長測定、超音波.....	5	自動保持機能をオンにする.....	35
ネットワーク機能.....	5	抑制機能の設定.....	36
互換性.....	6	超音波身長測定校正.....	37
2.4 患者対象グループ.....	6	BMI/BSA/ ウエストの選択.....	39
2.5 使用者に求められる資格.....	6	7.3 ディスプレイ設定の調整.....	39
組み立て.....	6	ディスプレイ言語の設定.....	39
管理 / ネットワーク運用.....	6	日付表示形式の設定.....	40
測定操作.....	6	スタンバイ時間の設定.....	40
3. 安全に関する情報.....	6	ディスプレイの明るさの設定.....	41
3.1 本取扱説明書での安全上のご注意.....	6	7.4 ネットワーク機能のセットアップ.....	42
3.2 基本的な安全上のご注意.....	7	ソフトウェア seca connect 103 で製品をセッ	
製品の取扱い.....	7	トアップする.....	43
感電の回避.....	8	IP アドレスの入力.....	43
負傷と感染の回避.....	8	Wi-Fi 機能をオン / オフにする.....	44
製品の破損の回避.....	9	製品を Wi-Fi ネットワークに接続する	
測定結果の取扱い.....	10	(seca connect 103).....	44
梱包材の取扱い.....	10	製品を Wi-Fi ネットワークに接続する	
4. 概要.....	11	(WPS).....	45
4.1 操作部.....	11	測定値を自動で削除する (自動クリア).....	45
4.2 操作部.....	12	7.5 音声ガイダンスの設定.....	46
4.3 マルチ機能ディスプレイのシンボル		言語の選択.....	46
(メイン画面).....	14	音量の設定.....	47
4.4 マルチ機能ディスプレイのシンボル		シグナル音をオン / オフにする.....	47
(メニュー).....	15	患者への指示のアナウンスをオン /	
4.5 製品および型番プレートに記載されているマ		オフにする (測定).....	48
ーク.....	17	測定結果のアナウンスをオン /	
4.6 梱包材に表記されているマーク.....	18	オフにする (結果).....	49
5. 製品の使用開始.....	19	7.6 工場設定.....	49
5.1 同梱品.....	19	工場設定の概要.....	49
5.2 各部名称.....	20	工場設定の復元.....	50
5.3 製品の設置.....	21	8. 衛生管理.....	51
5.4 バーコードスキャナーの接続 (オプション).....	22	8.1 清掃.....	51
5.5 電源供給の確保.....	23	8.2 消毒.....	51
5.6 水滴防止カバーの取付け.....	23	8.3 滅菌.....	51
5.7 製品設定の調整.....	24	9. 機能点検.....	52
5.8 製品の移動.....	24	10. 障害とその対処法.....	52
6. 操作.....	25	10.1 一般的な障害.....	52
6.1 マルチ機能ディスプレイをオンにする.....	25	10.2 体重測定.....	53
6.2 体重測定.....	26	10.3 身長測定、超音波.....	54
6.3 身長の手動入力.....	26	10.4 データ転送.....	55
6.4 体重と身長測定 (超音波式身長計付き製品).....	27	10.5 ディスプレイメッセージの信号システム.....	56
6.5 拡張計量機能の使用.....	28	10.6 エラーコード.....	57
追加重量を差し引く (風袋引き).....	28	11. メンテナンス.....	57
体重の継続表示 (保持).....	29	12. 技術データ.....	59
身長計付き製品: 体重と身長の継続表示		12.1 メニュー構成.....	59
(保持).....	30	作動モード「ベーシック」.....	59
追加重量の継続保存 (プリセット風袋).....	30	作動モード「アドバンス」.....	59
自動体重測定範囲切り替え.....	31	作動モード「エキスパート」 /	
BMI または BSA の自動算定.....	32	「サービス」.....	60
ウエストの入力.....	32	12.2 機能 / 作動モード.....	61

12.3 一般的な技術データ	61	13. オプションの付属品および交換部品	64
12.4 外形寸法、重量	62	14. 互換性のある seca 製品	64
12.5 体重測定 of データ	63	15. 廃棄処分	65
12.6 技術データ、超音波身長測定	63	16. 保証について	65
測定技術上のデータ	63	17. 適合宣言書	66
音声出力および音響信号	64		

1. この文書について

本取扱説明書には **seca 655** および互換性のあるseca製品の操作に関する情報が記載されています。








互換性のあるseca製品の組立ては、本取扱説明書には含まれていません。それぞれの組立説明書をご参照ください。互換性のあるseca製品の概要については、こちらをご覧ください: → [互換性のあるseca製品、64ページ](#)。

1.1 各シンボルの説明

本文内の表示

シンボル	説明
▶	作業指示
1. 2.	所定の順序で実施する必要のある作業指示
a) b)	単一の作業指示の中で、所定の順序で実施する必要のあるステップ
・ ・	リストの第一階層
-	リストの第二階層

図内の表示

シンボル	説明
	製品または製品コンポーネントで、特に注意を要する箇所を指しています
	製品または製品コンポーネントの移動方向を示しています
	メニュー表示でのナビゲーションパス
	適切な作業方法 適切な作業結果
	不適切な作業方法 不適切な作業結果
	プロセスの次のステップを指しています
	部品の組立などのプロセスの終了

1.2 PDF版

本製品のメニューにあるQRコードから本取扱説明書のPDF版にアクセスし、スマートフォンまたはタブレットPCにダウンロードすることができます。

詳しい情報はこちらをご覧ください: → [取扱説明書のPDF版にアクセスする \(QRコード\)、35ページ](#)

2. 製品の説明

2.1 体重計の用途

このseca体重計は各国の規定に準拠した上で、主に病院、診療所、医療施設の外来/病棟、およびメディカルフィットネス施設などで使用されています。

このseca体重計では従来同様の体重測定や全般的栄養状態の把握ができ、診断や治療法の決定の際に担当医師をサポートします。

ただし正確な診断をするには、担当医師が体重測定以外にも適切な検査を行い、それらの結果を考慮する必要があります。

2.2 互換性のあるseca製品の用途

ハンドレール seca 455

secaハンドレールは各国の規定に準拠した上で、主に病院、診療所、医療施設の外来/病棟、およびメディカルフィットネス施設などで使用されています。

ハンドレールは一人で立つことができない方をサポートするために、互換性のあるseca製品と共に使用します。

超音波式身長計 seca 257

このseca身長計は各国の規定に準拠した上で、主に病院、診療所、医療施設の外来/病棟、およびメディカルフィットネス施設などで使用されています。

このseca身長計は通常の身長測定や成長障害を早期把握するために互換性のあるseca体重計と共に使用され、診断や治療法の決定の際に担当医師をサポートします。

ただし正確な診断をするには、担当医師が身長測定以外にも適切な検査を行い、それらの結果を考慮する必要があります。

2.3 機能の説明

体重測定/身長の入力

重量認識は4個のロードセルで行います。測定結果はマルチ機能ディスプレイに表示されます。身長は手動で入力します。

ボディマス指数(BMI)または体表面積(BSA)は、「体重」および「身長」のパラメータから自動的に計算されます。

体重と身長の測定、超音波

身長計seca 257では身長測定が超音波で行われます。身長計は互換性のあるseca体重計に取り付けられます。患者の体重および身長は同時に測定されます。身長計は、設定可能な音声ガイダンスによって測定中患者をガイドします。測定結果は体重計に転送され、マルチ機能ディスプレイに表示されます。ボディマス指数(BMI)または体表面積(BSA)は、「体重」および「身長」のパラメータから自動的に計算されます。

ネットワーク機能

本製品は、LANポートまたはWi-Fiを介してパソコンネットワークと連携することができます。連携のセットアップにはソフトウェアseca connect 103が必要です。

ソフトウェアseca connect 103は本製品から測定データを受信し、これを電子カルテシステムまたはソフトウェアseca analytics 125に転送します。

ソフトウェアseca analytics 125は測定データをソフトウェアseca connect 103から受信し、これを図表に変換します。このようにソフトウェアは、担当医師が測定結果を評価し、診断する際にサポートします。

- 互換性** 環境設定ソフトウェア: **seca connect 103**:バージョン2.0以降、旧バージョンとの互換性なし。
評価ソフトウェア: **seca analytics 125**:バージョン1.0以降。

2.4 患者対象グループ

本製品は乳児を除くすべての年齢の人を対象としています。使用する互換性のあるseca製品によっては、体重と身長に制限がある場合があります:

- [技術データ、59ページ](#)
- [互換性のあるseca製品、64ページ](#)

2.5 使用者に求められる資格


組み立て 製品の組み立てに関しては、必ず十分な知識を有する人物（例えば専門業者、ホスピタルエンジニアまたはseca サービス）が組み立てるようにしてください。


管理/ネットワーク運用 本製品は、経験豊富な管理者またはホスピタルエンジニアのみがセットアップしてネットワークに組み込むことができます。


測定操作 本製品は、ヘルスケアまたは医学の分野で正式な訓練を受けた人物のみ操作することができます。

3. 安全に関する情報

3.1 本取扱説明書での安全上のご注意

 **危険！**
危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながります。

 **警告！**
危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながる可能性があります。

 **注意！**
危険な状況を示します。この注意を無視した場合、軽度から中程度の負傷事故につながる可能性があります。

気をつけて！

製品の操作を誤っている可能性があることを表示します。この注意事項を無視した場合、製品の損傷や誤った測定結果につながる可能性があります。

注意事項

この製品の使用に関する追加的な情報を含んでいます。

3.2 基本的な安全上のご注意

製品の取扱い

- ▶ 取扱説明書に記載されている注意事項を守ってください。
- ▶ 取扱説明書は大切に保管してください。本取扱説明書は製品の一部であり、常時参照できる状態にしておいてください。
- ▶ 患者の安全のため、使用者およびその患者は、本製品との関連で発生した重大な事故を、製造者とその国の管轄当局に報告する義務があります。



危険！ 爆発の危険

この製品は、以下のガスが充満する環境に設置しないでください。

- 酸素
- 可燃性の麻酔ガス
- その他の発火するおそれのある物質/混合気



注意！ 患者の身に危険、製品の破損

- ▶ 電子医療機器と接続する追加製品は、適切な IEC または ISO 規格（例えば電算処理機器には IEC 60950）に準拠していることが証明されているものでなければなりません。その他、設定はすべて、医療システム用の規格要件を満たしている必要があります（IEC 60601-1-1 または IEC 60601-1 第 3.1 版第 16 章を参照）。電子医療機器に追加製品を接続する方は、システム設定者であり、システムがそのシステムに対する規格要件に一致していることに責任を負います。これは、seca が推奨する追加機器にも適用されます。ただし各地域の法律は、上に挙げた規格要件よりも優先されることを指摘しておきます。ご不明の点がありましたら、現地の専門業者が技術サービスにご連絡ください。
- ▶ 本製品は検定付ですので、精度の確認の為、各都道府県にて実施されている定期検査をご依頼下さい。
- ▶ 製品における技術的な変更は許可されていません。本製品には、使用者様ご自分でメンテナンスを行う部品は含まれていません。メンテナンスおよび修理は、必ず正規の seca サービス担当者にご依頼ください。最寄りのサービス担当者については info@seca.co.jp までお問い合わせください。
- ▶ 必ず seca の純正部品と、同じく純正の交換部品をご使用ください。その他のものを使用した場合には保証が適用されません。



注意！ 患者の身に危険、誤作動

- ▶ 誤測定や無線転送時の障害を避けるために、高周波機器といった電子医療機器とは、最低でも約 1メートルの距離をあけてください。
- ▶ 誤測定や無線転送時の障害を避けるために、携帯電話といった HF（短波）機器とは、最低でも 1メートルの距離をあけてください。
- ▶ HF 機器の実際の送信能力によって、最低でも 1 m を超える距離が必要な場合があります。詳細は www.seca.com をご覧ください。

感電の回避



警告！ 感電

- ▶ ACアダプターを使用する製品は、電源コンセントへ容易にアクセスできるように、かつ電源の遮断をすぐに実行できるように設置してください。
- ▶ お住まいの地域の電源供給がACアダプターの記載と一致していることを確認してください。
- ▶ ACアダプターに濡れた手で触れることは、かたく禁じます。
- ▶ 延長コードやマルチコンセントタップは使用しないでください。
- ▶ ケーブルが押しつぶされたり、あるいは鋭い角で損傷しないよう注意してください。
- ▶ ケーブルが、熱を持った物体に接触しないよう注意してください。
- ▶ この製品は、海拔 3000 m よりも高いところで使用しないでください。
- ▶ USBポートには、本製品の使用に必要な場合かつ独自の電源供給がない製品のみ接続してください。

負傷と感染の回避



警告！ 製品の転倒による怪我の危険

本製品はポータブルな医療機器として意図されているため、壁や床にしっかりと固定されていません。ハンドレールや身長計を備えた製品のコンビネーションでは、規定に反した使用（「ジャングルジム」として使用するなど）の場合、転倒する可能性があります。

- ▶ お子様や精神障がいまたは運動障がいのある方が近くにいる場合は、目を離さないようにしてください。
- ▶ ペットを放置しないでください。



警告！ 転落による負傷

- ▶ 製品が水平にしっかりと設置されていることを確認してください。
- ▶ 接続ケーブル（ある場合）は、使用者と患者が足を引っかけてつまづかないように敷設してください。
- ▶ 本製品は、起立補助具としては設計されていません。体が思うように動かない人が車椅子から立ちあがる際などに、身体を支えてあげてください。
- ▶ 患者が計量台に乗る際、角に足を置かないようにご注意ください。計量台が傾く恐れがあります。
- ▶ 患者がゆっくりと確実に計量台に乗り降りするようにしてください。



警告！ 足を滑らせる危険

- ▶ 患者が計量台に載る前に、計量台が乾いていることを確認してください。
- ▶ 患者が計量台に載る前に、患者の足が濡れていないことを確認してください。
- ▶ 患者がゆっくりと確実に計量台に乗り降りするようにしてください。

**注意！****患者の身に危険、製品の破損**

患者が立つ面は、ガラス板でできています。ガラス板の損傷、例えば引っかけ傷、亀裂、剥離箇所は、負傷する危険性があり、またガラス板の破損の原因になります。

- ▶ ガラス板にとがった物を置かないでください。
- ▶ ご使用前は毎回、製品のガラス板に傷がついていないか、亀裂が走っていないか、剥げ落ちた箇所はないかを確認してください。そのような損傷を見つけたら、そのガラス板を新しいものと交換してください。
- ▶ ガラス板が損傷しているときには、本製品を使用しないでください。

**警告！****感染の危険**

- ▶ 相互汚染および院内感染のリスクを低減するために測定の前後は手を洗ってください。
- ▶ この製品は、本文書の該当する節で説明したように、定期的に衛生管理を行ってください。
- ▶ 患者が感染性の疾患にかかっていないことを確認してください。
- ▶ この製品に接触する可能性のある患者の身体部分に開放創や伝染性の皮膚の変容がないことを確認してください。

製品の破損の回避**気をつけて！****製品の破損**

- ▶ 製品およびセンサーの内部には液体およびほこりが入らないように細心の注意を払ってください。液体が入ると電子機器が壊れることがあります。
- ▶ 製品を長期間にわたって使用しない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。そうしないと、製品に電流が流れ続けます。
- ▶ 製品を落とさないでください。
- ▶ この製品に衝撃や振動を与えないでください。
- ▶ この文書の該当する節で説明したように、定期的に機能点検を実施してください。正常に機能しない、または損傷している状態でこの製品を使用しないでください。
- ▶ この製品は直射日光にさらさないでください。また熱源のすぐ近くに置かないでください。温度が高すぎると電子機器が壊れることがあります。
- ▶ 本製品は、必ず規定通りの環境条件のもとでご使用ください。
- ▶ 本製品は、必ず規定通りの保存条件のもとでご保管してください。
- ▶ 非常に高い温度で保管した後の冷却時間、または非常に低い温度で保管した後のウォームアップ時間に関する、技術データの情報に注意してください。
- ▶ アルコールベース（エタノール 70% など）の消毒剤以外は使用しないでください。
- ▶ クレンザーや刺激性のクリーナーは使用しないでください。

測定結果の取扱い

気をつけて！

整合性を欠いた測定結果

- ▶ この製品による測定値を保存、再利用（secaのPCソフトウェアや電子カルテシステムなど）する前に、その測定値が妥当なものであることを確認してください。
- ▶ 測定値がsecaのPCソフトウェア、または電子カルテシステムに転送されたら、それを継続利用する前に、その測定値が妥当であり、当該の患者に正しく割り当てられていることを確認してください。

気をつけて！

反射によるエラーメッセージ

物体または人が本製品の至近の場所にあると誤測定の原因になります。

- ▶ 測定プロセス中は、製品の前および横0.5メートル以内に物体がない、または人がいないようにしてください。
- ▶ 本製品が壁から0.2メートル以上離れていることを確認してください。
- ▶ 患者が頭頂部に髪飾りをつけていないことを確認してください。

梱包材の取扱い



警告！

窒息の危険

プラスチックフィルム製の梱包材（ビニール袋）には、窒息を引き起こす危険があります。

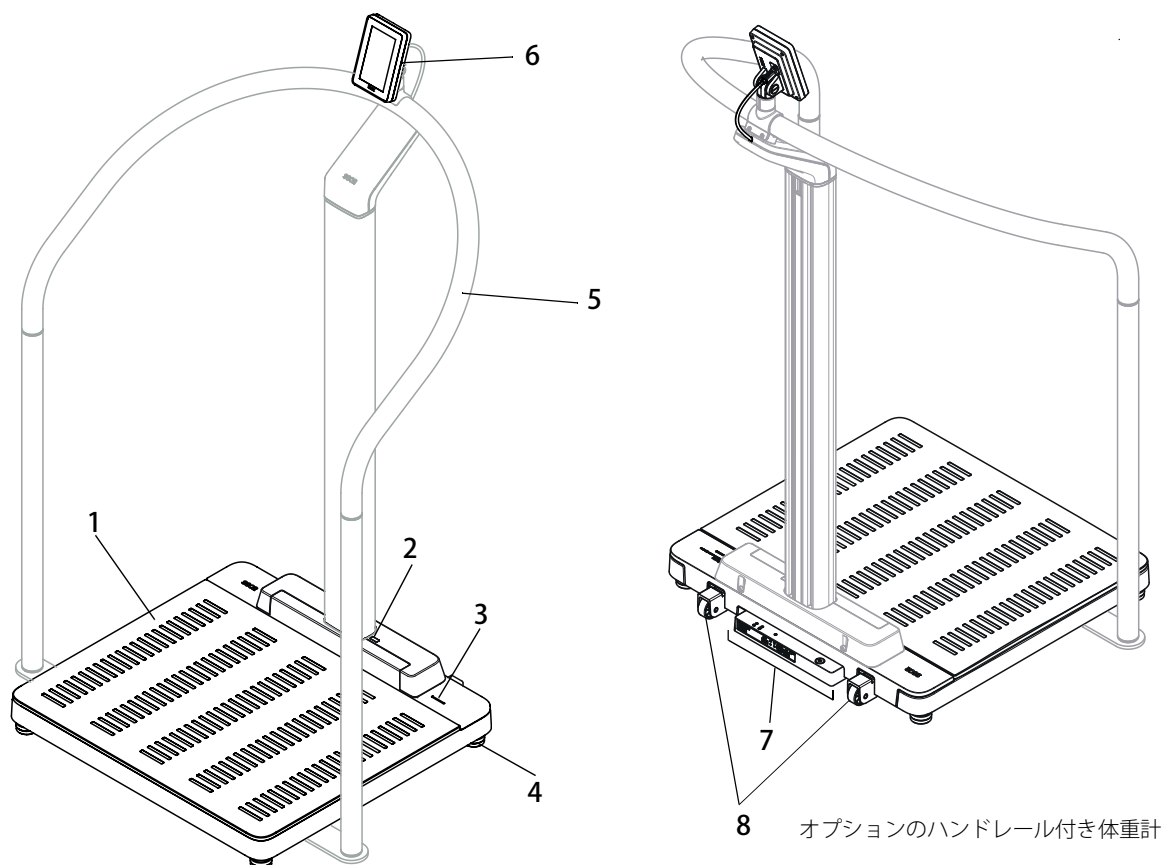
- ▶ 梱包材は、子供の手が届かないように保管してください。
- ▶ 本来の梱包材がなくなっている場合、窒息の危険を低下させるために、使用するビニール袋には必ず安全のための穴をあけてください。なるべく再利用できる材料をご使用ください。

注意事項

製品納品時に使用されていた梱包剤は、後で使用できるように保管しておいてください（例えば、メンテナンス時の発送の際などに必要になります）。

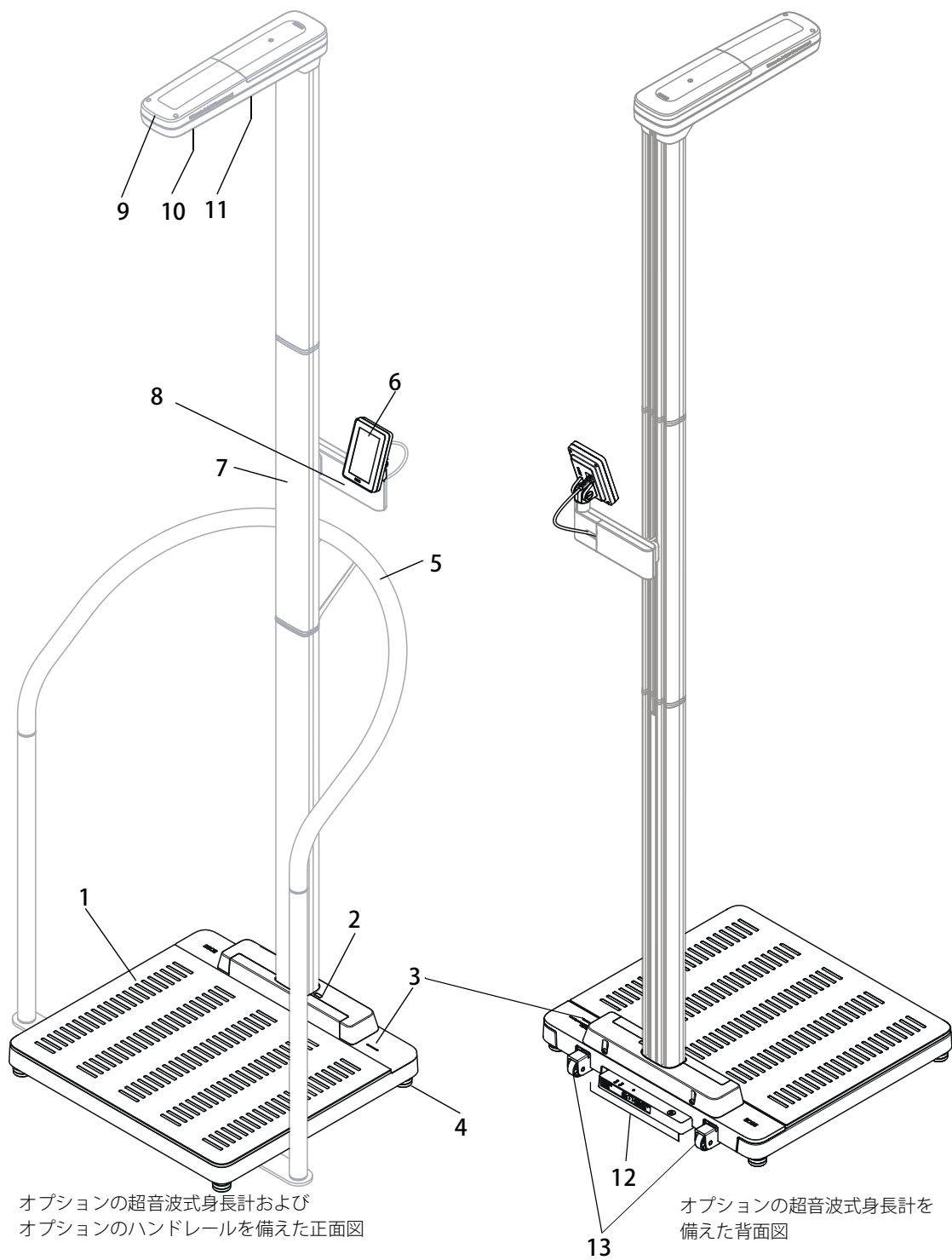
4. 概要

4.1 操作部



項目	製品コンポーネント	説明
1	計量台	<ul style="list-style-type: none"> 患者の体重を測定します 体重測定用の足形が点灯
2	赤外線ポート用力バー	機能拡張用、現在機能なし
3	LED「測定プロセス」	<p>データ取得およびデータ転送のステータスを表示します (前提条件: ソフトウェア seca connect 103 と接続されていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑に点灯: 測定プロセス中 緑に点滅 (約5秒間): 測定結果を電子カルテシステムに送信中 (設定に応じて異なる) 緑に点灯 (約5秒間): 測定結果の電子カルテシステムへの送信が完了 (設定に応じて異なる) 赤に点灯 (約5秒間): データ転送中または測定プロセス中にエラー発生 <p>注意事項: どのデータを取得し、転送するかは、ソフトウェア seca connect 103 で設定します。不明な点がある場合は、管理者またはホスピタルエンジニアにお問い合わせください</p>
4	脚部調整ねじ	製品の正確な位置調整に使用 (4個)
5	ハンドレール (オプション)	<ul style="list-style-type: none"> 互換性あり: ハンドレール seca 455 → 互換性のあるseca製品、64ページ しっかりと立つことができない患者をサポートするために使用 マルチ機能ディスプレイの取付可能
6	マルチ機能ディスプレイ	<p>集中制御/表示部</p> <ul style="list-style-type: none"> → マルチ機能ディスプレイのシンボル (メイン画面)、14ページ → マルチ機能ディスプレイのシンボル (メニュー)、15ページ
7	接続パネル	電源供給およびデータ転送用に使用 → 各部名称 、20ページ
8	キャスター	少し離れているところまで持ち運ぶために使用 (2個)

4.2 操作部



項目	製品コンポーネント	説明
1	計量台	<ul style="list-style-type: none"> 患者の体重を測定します 体重測定および身長測定用の足形が点灯
2	赤外線ポート用カバー	機能拡張用、現在機能なし






項目	製品コンポーネント	説明
3	LED「測定プロセス」	<p>データ取得およびデータ転送のステータスを表示します (前提条件: ソフトウェア seca connect 103 と接続されていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緑に点灯: 測定プロセス中 ・ 緑に点滅 (約5秒間): 測定結果を電子カルテシステムに送信中 (設定に応じて異なる) ・ 緑に点灯 (約5秒間): 測定結果の電子カルテシステムへの送信が完了 (設定に応じて異なる) ・ 赤に点灯 (約5秒間): データ転送中または測定プロセス中にエラー発生 <p>注意事項: どのデータを取得し、転送するかは、ソフトウェア seca connect 103 で設定します。不明な点がある場合は、管理者またはホスピタルエンジニアにお問い合わせください</p>
4	脚部調整ねじ	製品の正確な位置調整に使用 (4個)
5	ハンドレール (オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 互換性あり: ハンドレール seca 455 → 互換性のあるseca製品、64ページ ・ しっかりと立つことができない患者をサポートするために使用
6	マルチ機能ディスプレイ	<p>集中制御/表示部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ → マルチ機能ディスプレイのシンボル (メイン画面)、14ページ ・ → マルチ機能ディスプレイのシンボル (メニュー)、15ページ
7	超音波式身長計 (オプション)	互換性あり: 超音波式身長計 seca 257 → 互換性のあるseca製品、64ページ
8	マルチ機能ディスプレイ用ホルダー	マルチ機能ディスプレイ (体重計の同梱品) を身長計に取り付けるために使用
9	LED「動作状態」	身長計の動作状態を表示します
10	超音波センサー	身長測定に使用
11	スピーカー	音声出力に使用
12	接続パネル	電源供給およびデータ転送用に使用 → 各部名称、20ページ
13	キャスター	少し離れているところまで持ち運ぶために使用 (2個)

4.3 マルチ機能ディスプレイのシンボル(メイン画面)

本節には、測定操作のディスプレイ内容についての情報が記載されています。環境設定および管理のディスプレイ内容についての情報は、こちらをご覧ください:→ [マルチ機能ディスプレイのシンボル\(メニュー\)](#)、15ページ。



項目	ディスプレイ エレメント	説明
A B	IDU IDP	電子カルテシステムと接続されている場合のみ (seca connect 103経由で): <ul style="list-style-type: none"> • IDU: ユーザー名 • IDP: 患者の名前と生年月日 • 領域をタップすると、IDが拡大表示されます • seca analytics 125と接続されている場合は利用不可
C		Wi-Fi接続のステータス表示: <ul style="list-style-type: none"> • Wi-Fi有効、信号なし • 信号が極めて弱い • 信号が弱い • 信号が良好 • 信号が最適
		LAN接続のステータス表示: <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 • 利用不可

項目	ディスプレイ エレメント	説明
D	体重測定の数値	<ul style="list-style-type: none"> • 体重測定領域: → 1 ←、→ 2 ← • Max: 各体重測定領域での最大荷重 • e: 目量 • Min: 各体重測定領域での最小荷重
E	ディスプレイ フィールド Weight (体重)	<ul style="list-style-type: none"> • 体重
F	ディスプレイ フィールド Height (身長)	<ul style="list-style-type: none"> • 身長、手動入力する場合: ディスプレイをタップします
G	ディスプレイ フィールド 「ボディサイズ指 標」	<p>利用可能な指標:</p> <ul style="list-style-type: none"> • BMI: ボディマス指数 (kg/m²) • BSA: 体表面積 (m²) <ul style="list-style-type: none"> - BSA (Dubois) - BSA (Haycock) - BSA (Mosteller) • : ウエスト • ボディサイズ指標の切替: ディスプレイフィールドをタップします • BMI/BSA選択時は、体重と身長が確定した時点で選択した指標が自動算出されます <p>• : ウエストの入力</p> <p>• この機能はメニューで有効化/無効化可能 → BMI/BSA/ウエストの選択、39ページ</p>
H	追加機能	<ul style="list-style-type: none"> •  追加機能が有効 (この場合: 保持) •  追加機能が無効
I	✓	<ul style="list-style-type: none"> • 測定結果を確定して、電子カルテシステムに送信 • 手動入力の確定
J	☰	<ul style="list-style-type: none"> • 短く押す: メニューを開く → 環境設定、33ページ • 長く押す (約5秒間): → 作動モードの変更、34ページ
K	✕	<ul style="list-style-type: none"> • 測定結果を破棄する • 手動入力を破棄する • 自動プロセスを中断する
L	拡張計量機能	<ul style="list-style-type: none"> • : 「測定値は検定対象外」が有効 • Hold: 機能Hold(保持)が有効 • NET: 機能Tare (風袋) またはPre-tare (プリセット風袋) が有効 • PT: 機能Pre-tare (プリセット風袋) が有効

4.4 マルチ機能ディスプレイのシンボル(メニュー)

本節には、環境設定および管理のディスプレイ内容についての情報が記載されています。測定操作のディスプレイ内容についての情報は、こちらをご覧ください: → [マルチ機能ディスプレイのシンボル\(メニュー\)、15ページ](#)。

メニューの設定方法は、選択した作動モードにより異なります:

→ [作動モードの変更、34ページ](#)

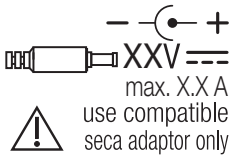








→ [機能/作動モード、61ページ](#)











	シンボル	説明
A		上位のメニューレベルに戻る
B	ヘッダー	現在のメニューレベルを表示します
C		メイン画面に戻る
D		<ul style="list-style-type: none"> • タップする: 機能の有効化/無効化 • 機能が有効 • 機能が無効
E		<ul style="list-style-type: none"> • サブメニューあり • 設定オプションあり
F		このシンボルが付いているボタンを押すと、メニューポイント表示\Language (言語)に移動します
G		<ul style="list-style-type: none"> • 各メニューレベルごとのページ数、この場合: 3 • 現在のページが表示されます、この場合: 1ページ
H		• メニューのページを選択

4.5 製品および型番プレートに記されているマーク

テキスト / シンボル	意味
	メーカーの名称および住所、製造年月日
REF	モデル番号
SN	シリアル番号、連番
ProdID	製品識別番号
Approval Type	型式承認番号
	取扱説明書にしたがう (生体インピーダンス測定付き製品)
	取扱説明書にしたがう
	製品が転倒する可能性があります。押し たり寄りかかったりしないでください (ハ ンドレール付きまたは身長計付きの製品)
	本製品は、心臓ペースメーカーまたは埋 め込み式除細動器を使用する人には使用 できません (生体インピーダンス測定付き 製品)
	電子医療機器 (タイプ BF) (ヨーロッパ内のみ)
IP21	保護等級は IEC 60529 準拠 (ヨーロッパ): ・ 直径 12.5mm を超える固い異物に対する 保護 ・ 指の侵入に対する保護 ・ 水滴に対する保護
e	目量最小単位 (検定付体重計)
d	目量最小単位 (非検定付体重計)
	有効な体重測定領域
	指令 2014/31/EU に準拠した検定クラス III の体重計 (検定付モデル) (ヨーロッパ内のみ) 精度等級 3 級 (日本国内に限定)
	製品は EU 指令に適合しています。 ・ M : 非自動はかり指令 2014/31/EU に準拠 した適合マーク (検定付モデル) ・ 20 : (例: 2020 年) 適合宣言が行われ、CE マークが貼付された年 (検定付モデル) ・ 0102 : 度量衡極に関する指定機関 (検定付 モデル) ・ 0123 : 医療機器の指定機関
	この機器は日本の無線機器の規制要件を 満たしています。
	アメリカ合衆国官庁、連邦通信委員会 (FCC) のマーク (米国国内のみ)
FCC ID	アメリカ合衆国官庁、連邦通信委員会 (FCC) の製品承認番号 (米国国内のみ)
IC	カナダ通産省の製品承認番号 (カナダ国内 のみ)

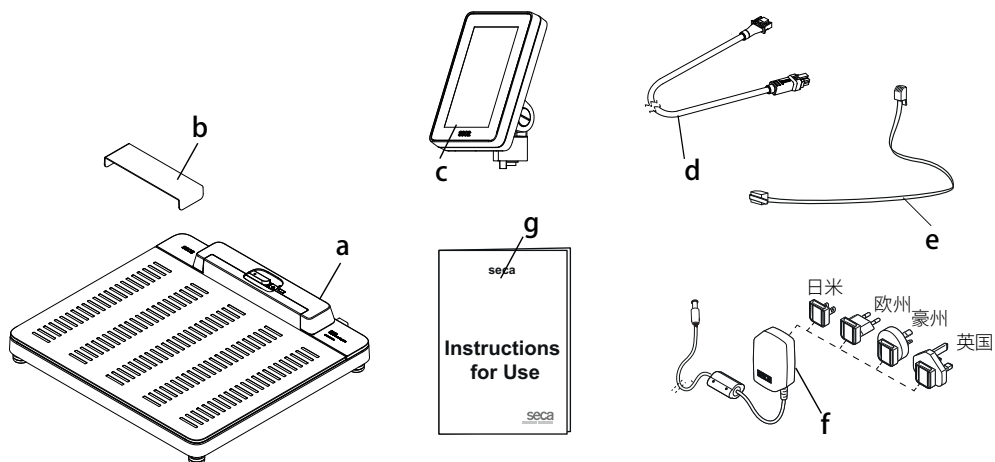
テキスト/シンボル	意味
	型番プレート 電源接続ポート： ・電源接続部の極性 ・許容される供給電圧 ・消費電力
	LAN ポート
	USB ポート
	LED「動作状態」
	LED「接続状態」
	WPS ボタン
	リセットボタン
	マルチ機能ディスプレイ用ポート
	製品を家庭ゴミとして廃棄しないこと

4.6 梱包材に表記されているマーク

	水から保護すること
	必ず製品の箱を矢印の向きが上になるようにする 直立状態で輸送・保管を行うこと
	取扱注意 投げたり落としたりしないこと
	輸送・保管時の最小/最大許可温度
	輸送・保管時の最小/最大許可湿度
	輸送・保管時の最小/最大許容気圧
	ここで梱包材を開きます
	梱包材はリサイクルプログラムで廃棄可能

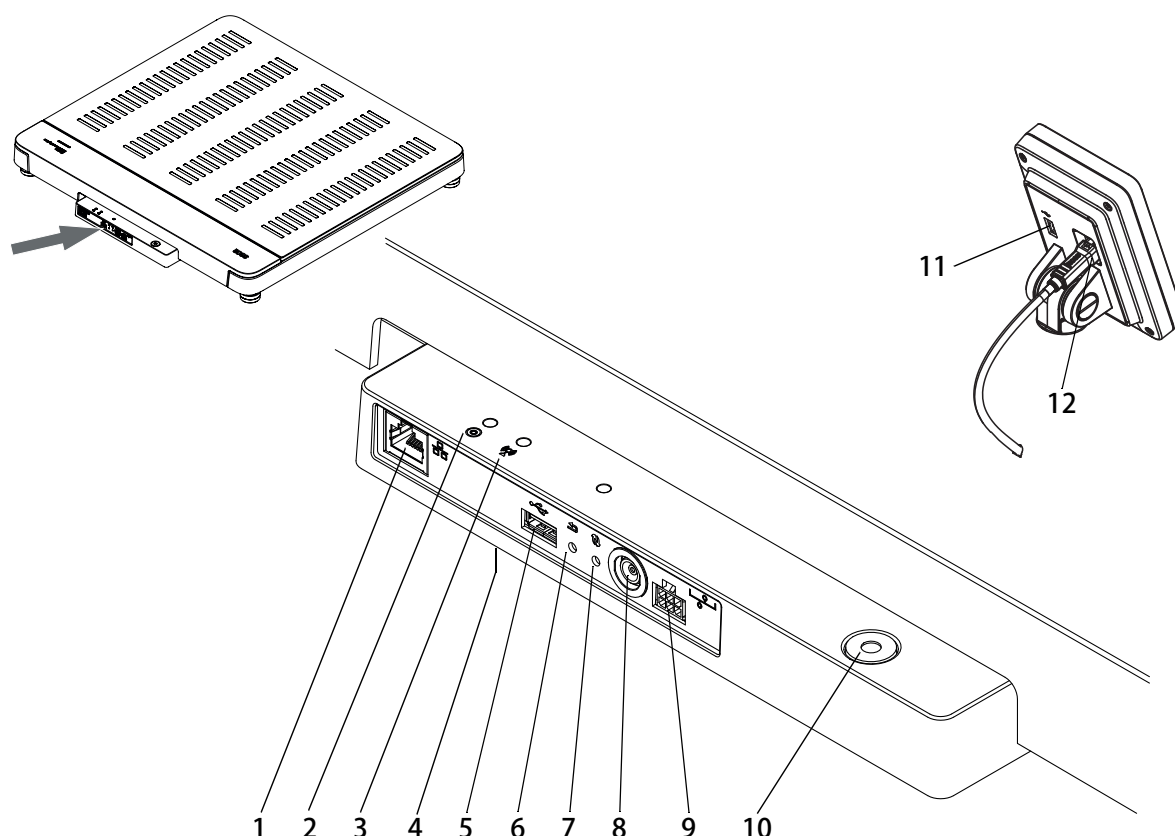
5. 製品の使用開始

5.1 同梱品



項目	標準同梱品	個数
a	体重計	1
b	水滴防止カバー、透明	1
c	マルチ機能ディスプレイ	1
d	ディスプレイケーブル	1
e	ネットワークケーブル	1
f	ACアダプター	1
g	取扱説明書	1

5.2 各部名称

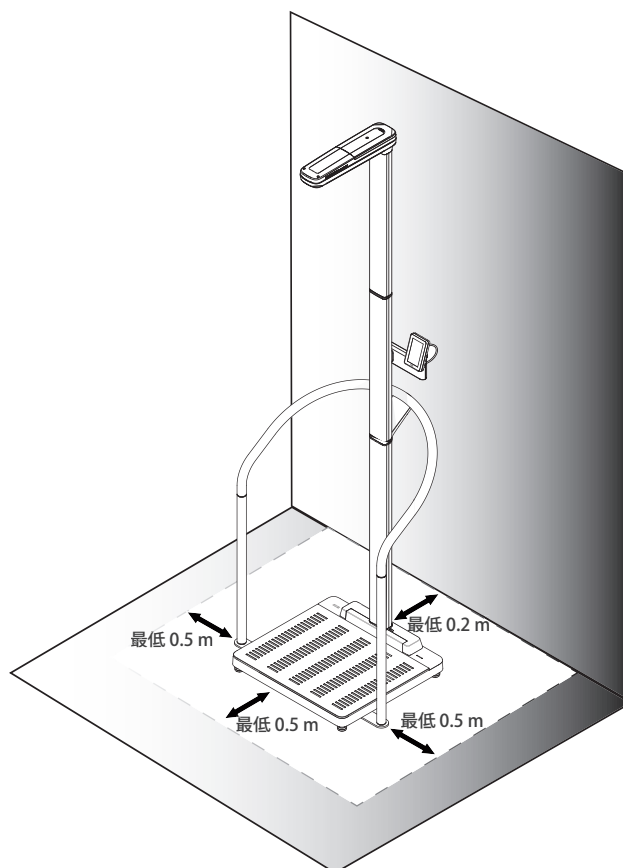


項目	製品コンポーネント	機能
1	LAN ポート	製品をご所属機関の電子カルテシステムに接続するために使用 (Wi-Fi接続の代わり、ソフトウェア seca connect 103 が必要)。
2	LED「動作状態」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑に点灯: 製品の作動準備完了 ・ 赤に点灯: 機器が故障している ・ 緑に点滅: 製品がアクセスポイントとして有効
3	LED「接続ステータス」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑に点滅: ネットワーク接続の確立中 ・ 緑に点灯: ネットワーク接続が確立されている ・ 赤に点灯: ネットワーク接続に障害がある
4	Wi-Fiモジュール (内部)	製品をご所属機関の電子カルテシステムに接続するために使用 (LAN接続の代わり、ソフトウェア seca connect 103 が必要)
5	USBポート (計量台側)	バーコードスキャナーの接続に使用 → オプションの付属品および交換部品、64ページ
6	リセットボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長く押す (約8秒間): 設定のリセット ・ 短く押す (約1秒間): アクセスポイント機能の有効化/無効化
7	WPSボタン	Wi-Fi接続をWPS経由で確立
8	電源接続部	ACアダプターの接続に使用
9	ディスプレイポート	この接続部は使用しないこと、互換性のあるseca製品の組立説明書を参照
10	水平器	製品が水平に設置されているかを表示
11	USBポート (マルチ機能ディスプレイ側)	<ul style="list-style-type: none"> ・ バーコードスキャナーの接続に使用 → オプションの付属品および交換部品、64ページ ・ マルチ機能ディスプレイが製品に直接取り付けられている場合に推奨; 付属品が必要: スキャナーホルダー seca 463 → オプションの付属品および交換部品、64ページ
12	ディスプレイポート	<ul style="list-style-type: none"> ・ マルチ機能ディスプレイの電源供給に使用 ・ マルチ機能ディスプレイと製品電子機器間のデータ転送に使用

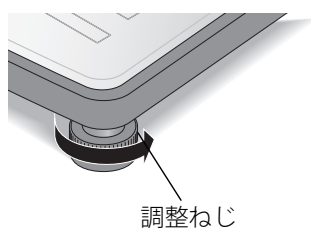
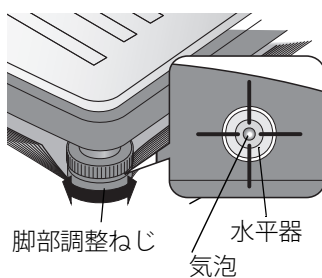
5.3 製品の設置

正確な測定結果を得るためには、設置場所の床が平坦で安定していなければなりません。木材フローリングのようなやわらかい床板は、患者の体重でたわみ、測定結果に誤りを生じさせます。

- 製品は堅い平面上に設置してください。
続行には以下の方法があります：
 - ▶ 超音波式身長計付き製品:ステップ2.を参照
 - ▶ 超音波式身長計なしの製品:ステップ3.を参照
- 図に表示された領域を、カラーの粘着テープなどでマークします。



- 脚部調整ねじを回して、製品の位置を調整します。
水平器内の気泡が円の中心にあれば、製品は水平に置かれています。



注意！ 安定性の不足による怪我

脚部調整ねじを引き出しすぎると、ねじが製品から外れる可能性があります。その場合、製品の安定性が失われます。

- ▶ 脚部調整ねじは、10 mm以上引き出さないでください。
 - ▶ ねじを最大に引き出した状態でも、製品を水平に調整できない場合は、その設置場所が不適切ということになります。製品を適切な場所に設置してください。
- 調整ねじを矢印方向に回して締めます。
脚部調整ねじは、位置ずれを防止するよう設計されています。
 - 超音波式身長計の校正を実行します → [超音波身長測定の校正、37ページ](#)。

5.4 バーコードスキャナーの接続 (オプション)

計量台のUSBポートにバーコードスキャナーを接続することができます。

バーコードスキャナーは次の機能に必要となります:

- **環境設定:** ネットワークデータをソフトウェア **seca connect 103** で定義し、QRコードで製品に転送する: → [ネットワーク機能のセットアップ、42ページ](#)
- **操作:** 患者IDおよび使用者IDを読み込み、測定結果を電子カルテシステムに転送する: → [測定プロセスの終了、32ページ](#)



警告！ 患者の身に危険

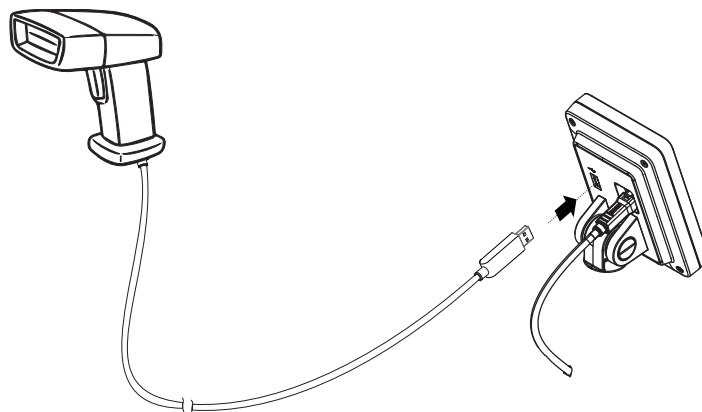
- ▶ 接続ケーブルは、患者に引っ掛かったり、絡まったりしないよう敷設してください。
- ▶ 接続ケーブルは患者および使用者がつかまづかないように敷設してください。

注意事項:

- バーコードスキャナーの許容最大消費電力に注意してください
→ [一般的な技術データ、61ページ](#)。

バーコードスキャナーを接続するには、以下の手順に従ってください:

1. 製品が電源供給から切断されていることを確認してください。
2. バーコードスキャナーのUSBプラグをマルチ機能ディスプレイのUSBポートに差し込みます。



3. バーコードスキャナーを適切なホルダーに吊るします (スキャナーホルダー **seca 463** など → [オプションの付属品および交換部品、64ページ](#))。

気をつけて！

計量台の他物接触による誤測定

バーコードスキャナーとスキャナーホルダーは、計量に敏感な領域に位置しています。バーコードスキャナーがスキャン後にスキャナーホルダーに戻されていないと、測定結果に狂いが生じます。

- ▶ スキャナーは、スキャンの度に、スキャナーホルダーに掛けてください。

4. 電源供給を確保します → [電源供給の確保、23ページ](#)。

5.5 電源供給の確保

本製品への電源供給は、ACアダプターを使用して行います。

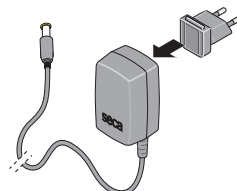
気をつけて！

高すぎる電圧による製品の破損

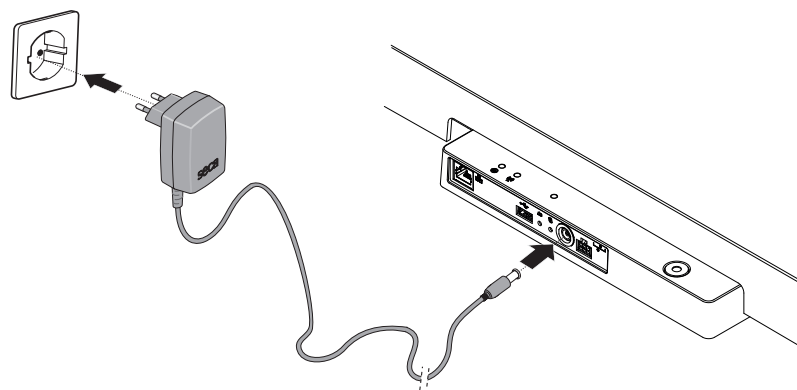
市販のACアダプターは、本製品に指定されている電圧より高い電圧を供給するおそれがあります。その場合、製品が過熱し、発火が生じたり、溶けたり、ショートしたりするおそれがあります。

- ▶ 12Vの制御出力電圧を供給するseca純正のACアダプターのみ使用するようにしてください → [オプションの付属品および交換部品、64ページ](#)。

1. 電源供給に必要な変換アダプターをACアダプターに差し込みます。



2. ACアダプターのDCプラグを、製品の接続ジャックに差し込みます。
3. ACアダプターを電源コンセントに差し込みます。



4. 機能点検を行います → [機能点検、52ページ](#)。

5.6 水滴防止カバーの取付け

気をつけて！

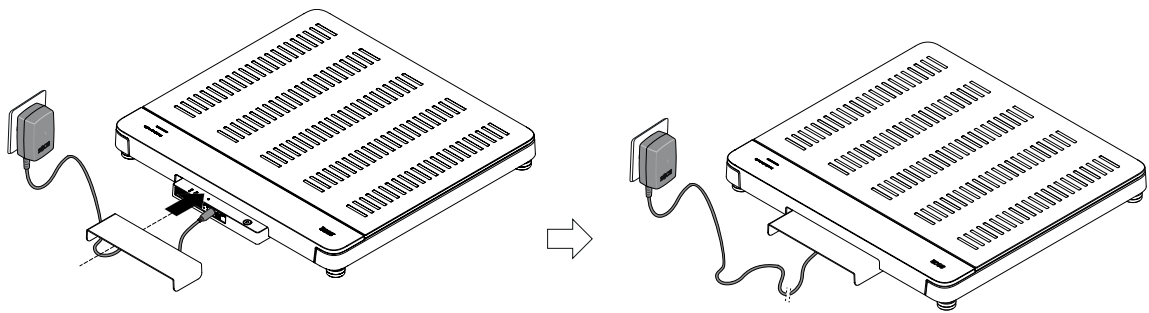
液体の浸入による製品の破損

水滴やその他の滴り落ちる液体が接続パネルから製品内部に浸入すると、製品が損傷する可能性があります。

- ▶ 製品は必ず水滴防止カバーを取り付けた状態で操作してください。

1. すべてのケーブル接続は、本取扱説明書および互換性のある製品の組立説明書に従って行ってください。
2. 図のように、水滴防止カバーを接続パネルにかぶせます。

- 水滴防止カバーをカチッと音がするまで計量台の下に差し込みます。



5.7 製品設定の調整

製品をさまざまな使用状況に合わせてセットアップするには、以下の方法があります:

- [作動モードの変更、34ページ](#)
- [メニューの呼出し/終了、34ページ](#)
- [ネットワーク機能のセットアップ、42ページ](#)
- [超音波身長測定の校正、37ページ](#) (製品によって異なる)

5.8 製品の移動

本製品には2個のキャスターが付いており、これにより短距離の移動が可能です。



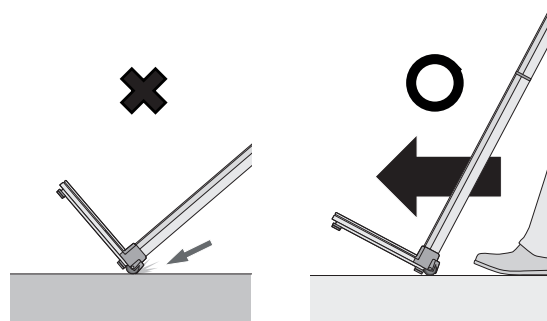
注意！

負傷の恐れおよび製品の破損

製品に身長計が装備されている場合、製品は移動時に大きく傾ける必要があります。製品を組み立てたときの高さが高いため、負傷や製品の破損の原因となる恐れがあります。

- ▶ 他の人がすぐ近くにいないかを確認してください。
- ▶ すぐ近くに物体がないかを確認してください。

- 水滴防止カバーの取外し
- 製品のケーブル接続をすべて外します (電源供給、ネットワーク等)。
- キャスターで自由に動かせるようになるまで本製品を傾けます。



- 製品を新たな設置場所に移動させます。
- 製品を立てます → [製品の設置、21ページ](#)。
- 再びケーブル接続を確立します。
- 水滴防止カバーを取り付けます。

6. 操作



警告！ 転落による負傷

- ▶ 製品が水平にしっかり設置されていることを確認してください。
- ▶ 接続ケーブル（ある場合）は、使用者と患者が足を引っかけてつまづかないように敷設してください。
- ▶ 本製品は、起立補助具としては設計されていません。体が思うように動かない人が車椅子から立ちあがる際などに、身体を支えてあげてください。
- ▶ 患者が計量台に乗る際、角に足を置かないようにご注意ください。計量台が傾く恐れがあります。
- ▶ 患者がゆっくりと確実に計量台に乗り降りするようにしてください。



警告！ 足を滑らせる危険

- ▶ 患者が計量台に載る前に、計量台が乾いていることを確認してください。
- ▶ 患者が計量台に載る前に、患者の足が濡れていないことを確認してください。
- ▶ 患者がゆっくりと確実に計量台に乗り降りするようにしてください。

注意事項:

一部の機能では、使用できるかどうかが作動モードによって異なります。現在の作動モードでは使用できない機能が必要な場合、管理者またはホスピタルエンジニアに作動モードを変更できるかどうかを確認してください。

6.1 マルチ機能ディスプレイをオンにする

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	・
アドバンス	・
エキスパート	・
サービス	・

マルチ機能ディスプレイは、設定した時間の経過後に消えます (→ [スタンバイ時間の設定、40ページ](#))。secaロゴが表示されます (スクリーンセーバー)。



警告！ 感電

この製品にはオン/オフスイッチがなく、ディスプレイが消えていても無通電状態ではありません。

- ▶ 衛生管理やメンテナンスのためなど、製品を無通電にする必要がある場合は、必ずACアダプターを抜き取ってください。
- ▶ マルチ機能ディスプレイをタップして、ディスプレイをオンにします。メイン画面が表示されます。これで、製品は作動準備完了です。

6.2 体重測定

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	・
アドバンス	・
エキスパート	・
サービス	・



注意！

患者の身に危険、転落による負傷

体が思うように動かない人は、計量台への乗り降りの際に転倒することがあります。

▶ 体が思うように動かない人の場合、体重計への乗り降りの際に体を支えてあげてください。

1. 計量台に何も載っていないことを確認します。
2. 患者に計量台に乗ってもらいます。
3. 患者に静かに立ってもらいます。
4. 測定結果を読み取ります。



6.3 身長の手動入力

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	・
アドバンス	・
エキスパート	・
サービス	・

1. フィールドHeight (身長) をタップします。
2. 身長を入力します。
3. ✓ ボタンをタップして、入力を確定します。



4. 入力を破棄するには、✕ ボタンをタップします。

6.4 体重と身長測定 (超音波式身長計付き製品)

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	・
アドバンス	・
エキスパート	・
サービス	・



注意！

患者が転倒して負傷する危険

体が思うように動かない人は、計量台への乗り降りの際に転倒することがあります。

- ▶ 体が思うように動かない人の場合、体重計への乗り降りの際に体を支えてあげてください。

気をつけて！

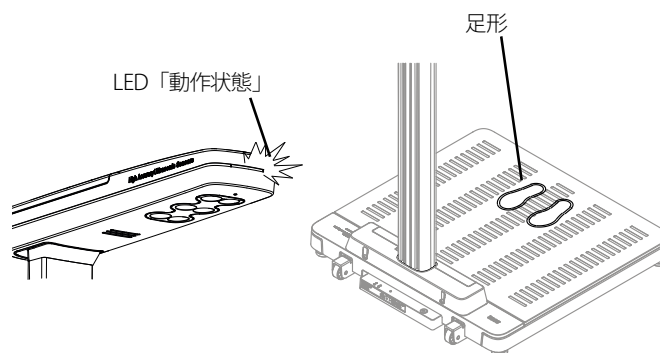
反射によるエラーメッセージ

物体または人が本製品の至近の場所にあると誤測定の原因になります。

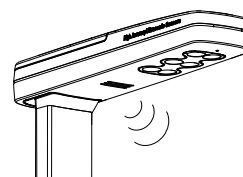
- ▶ 測定プロセス中は、製品の前および横 0.5 メートル以内に物体がない、または人がいないようにしてください。
- ▶ 本製品が壁から 0.2 メートル以上離れていることを確認してください。
- ▶ 患者が頭頂部に髪飾りをつけていないことを確認してください。

以下に説明する測定プロセスは、工場設定を前提としています。設定方法はこちらをご覧ください:→ [音声ガイダンスの設定、46ページ](#)。

1. 計量台に何も載っていないことを確認します。
2. 必要に応じてマルチ機能ディスプレイの画面をタッチして、製品をスタンバイ状態から復帰させます。
3. 超音波ヘッドのLED「動作状態」および計量台の足形が点灯していることを確認してください。



4. 患者が計量台に前向きに乗り、まっすぐな姿勢をとっていることを確認します。
5. 患者が点灯している足形の上に乗っていることを確認します。
6. 患者に製品の指示に従うようお願いします。
製品が患者の体重と身長を測定します。





7. 測定結果を読み取ります。
8. 続行には以下の方法があります:
 - ▶ 測定の終了 → [測定プロセスの終了、32ページ](#)
 - ▶ 測定結果を破棄する: **X** ボタンをタップします

6.5 拡張計量機能の使用

追加重量を差し引く (風袋引き)

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	.
エキスパート	.
サービス	.

Tare (風袋) 機能で、追加重量 (タオルなど) が患者の体重値に影響することを回避できます。

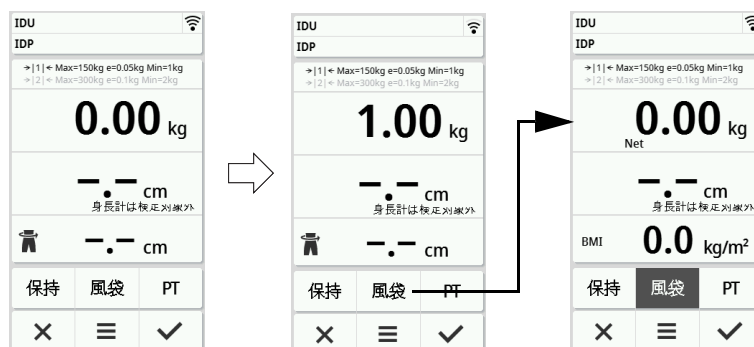
気をつけて!

計量台の他物接触による誤測定

大きなタオルなどの追加重量が、体重計が置かれている床面に触れていると、重量を正確に測定することができません。

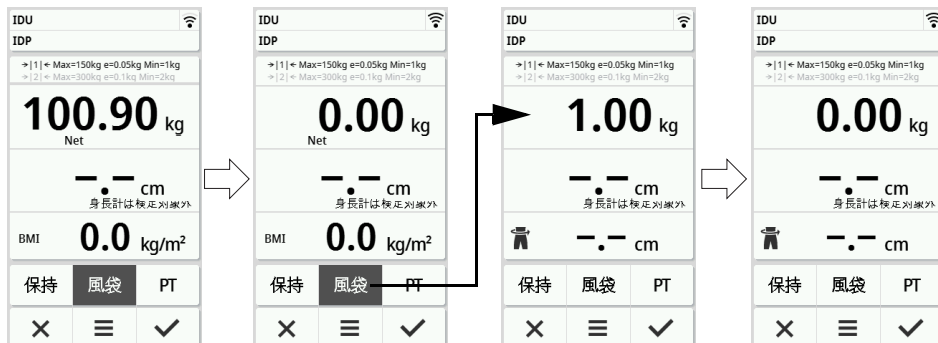
- ▶ 追加重量が体重計の計量台にのみかかっていることを確認してください。

1. Tare (風袋) 機能をオンにするには、次の手順に従ってください:
 - a) 追加重量 (ここでは1 kg) を計量台に乗せます。
 - b) Tare (風袋) ボタンをタップします。
 - c) 値および0:00メッセージ「NET」が表示されるまで待ちます。



2. 患者の体重測定を行います → [体重測定、26ページ](#)。
3. 測定結果を読み取ります。
追加重量が自動的に差し引かれています。

4. 機能をオフにするには、次の手順に従ってください:
- 計量台から患者に降りてもらおう
 - Tare (風袋)** ボタンを押す
 - メッセージ**NET**が消え、追加重量が表示されるまで待つ
 - 追加重量を計量台から取り除く



注意事項:

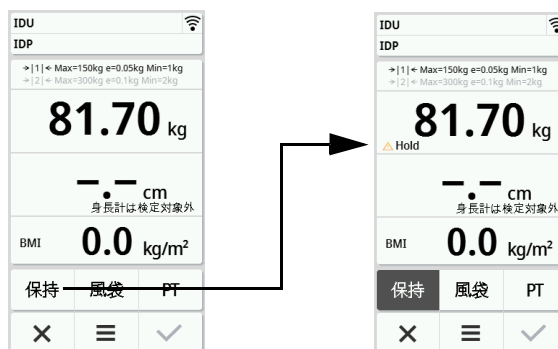
表示可能な最大重量は、差し引かれた物の重さ分少なくなります。

体重の継続表示 (保持)

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	.
エキスパート	.
サービス	.

Hold(保持)機能をオンにすると、体重計から降りても体重が表示され続けます。体重値の記録は後にして、先に患者のケアをすることが出来ます。

1. 体重計に何も載せられていないことを確認します。
2. 患者に体重計に乗ってもらいます。
3. **Hold(保持)**ボタンをタップします。
4. 体重値の点滅が止まるまで待ちます。
メッセージ「**Hold(保持)**」が表示されます。



5. 機能をオフにするには、**Hold(保持)**ボタンをタップします。
メッセージ「**Hold(保持)**」が表示されなくなります。

注意事項:

自動保持機能がオンになっていると、体重値は測定結果が安定した後で自動的に継続表示されます (35 ページ「自動保持機能をオンにする」を参照)。

身長計付き製品:体重と身長
の継続表示(保持)

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	.
エキスパート	.
サービス	.

Hold(保持)機能をオンにすると、体重計から降りても体重と身長が表示され続けます。測定結果の記録は後にして、先に患者のケアをすることができます。

1. 体重計に何も載せられていないことを確認します。
2. 患者に体重計に乗ってもらいます。
3. 身長測定が完了するまで、また製品の設定によっては測定結果がアンラウンズされるまで待ちます。
4. Hold(保持)ボタンをタップします。
メッセージ「Hold(保持)」が表示されます。



5. 機能をオフにするには、Hold(保持)ボタンをタップします。
シンボル△およびメッセージ「Hold(保持)」が表示されなくなります。

注意事項:

自動保持機能がオンになっていると、体重と身長は測定値が安定した後で自動的に継続表示されます → [自動保持機能をオンにする、35ページ](#)。

追加重量の継続保存(プリセット風袋)

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	.
エキスパート	.
サービス	.

Pre-tare (プリセット風袋) 機能では、追加重量を恒久的に保存しておき、測定結果から自動的に差し引くことができます(靴や衣服の総重量など)。

1. **Pre-tare (プリセット風袋)** 機能をオンにするには、次の手順に従ってください:

- a) 計量台に何も載っていないことを確認する
- b) **PT**ボタンをタップする
- c) 値の入力
- d) 値を **✓** ボタンで確認する

設定された追加重量 (ここでは1.5 kg) がマイナス記号と共に表示されます。

メッセージ「NET」と「PT(プリセット風袋)」が表示されます。



2. 患者に体重計に乗ってもらいます。
患者の体重が表示されます。
保存されている追加重量が自動的に差し引かれます。
3. 機能をオフにするには、次の手順に従ってください:
 - a) 計量台から患者に降りてもらおう
 - b) **PT**ボタンをタップする
 - c) 値を **✕** ボタンで破棄する

設定された追加重量が表示されなくなります。
機能がオフになりました。



自動体重測定範囲切り替え

体重計のスイッチを入れると体重測定領域1がオンになります。特定の体重値を超えると、体重計は自動的に体重測定領域2に切り換わります。

- ▶ 再び体重測定領域1に切り替えるには、体重計から負荷を完全に取除きます。
体重測定領域1が再びオンになります。



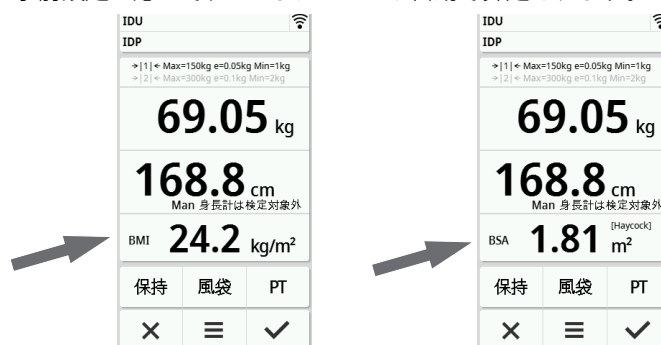
BMIまたはBSAの自動算定


作動モード	機能を利用可能
ベーシック	.
アドバンス	.
エキスパート	.
サービス	.



製品は、ボディマス指数 (BMI) または体表面積 (BSA: Body Surface Area) を事前設定に応じて自動で算定します → [BMI/BSA/ウエストの選択、39ページ](#)。

- ▶ 患者の体重と身長を測定します。
 - ▶ → [体重測定、26ページ](#)
 - ▶ → [身長の手動入力、26ページ](#)
 - ▶ → [体重と身長の測定 \(超音波式身長計付き製品\)、27ページ](#)

事前設定に応じて、BMIまたはBSAが自動で算定されます。



ウエストの入力 メイン画面にシンボル  が表示されている場合 (→ [BMI/BSA/ウエストの選択、39ページ](#))、患者のウエストを入力して、他の測定結果と共に電子カルテシステムまたはソフトウェア *seca analytics 125* に送ることができます。

1. ディスプレイフィールド  をタップします。
2. ウエストを入力します。
3.  ボタンで入力を確定します。



6.6 測定プロセスの終了

気をつけて！ 間違った測定結果

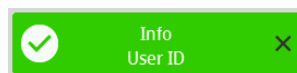
スキャナーホルダーが装備された製品では、バーコードスキャナーとバーコードスキャナーホルダーが計量に敏感な場所にあることから、誤った測定結果が生じる可能性があります。

- ▶ バーコードスキャナーはバーコードホルダーに掛けてください。

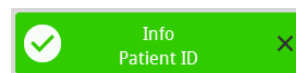
電子カルテシステムに接続されている製品

電子カルテシステムに接続されている製品で測定を完了するには、次の手順に従ってください:

1. 表示された測定値が妥当であることを確認してください。
2. 患者IDおよび/または使用者IDをスキャンします。
製品はスキャンしたIDが正しいかどうかを示します:



使用者IDはOK

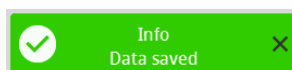


患者IDはOK

注意事項:

測定プロセスのどの時点でIDをスキャンするのかは、製品を電子カルテシステムに接続する際に決まります。ご不明な点がありましたら、管理者またはホスピタルエンジニアにお問い合わせください。

3. ボタンをタップします。
測定結果は電子カルテシステムに送信され、電子患者カルテに割り当てられます。



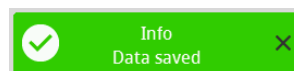
データが電子カルテシステムに送信されました

製品は、次の測定を行える状態になりました。

ソフトウェアseca analytics 125に接続されている製品

ソフトウェアseca analytics 125に接続されている製品で測定を完了するには、次の手順に従ってください:

1. ボタンをタップします。
ダイアログウィンドウDate of birth (生年月日)が表示されます。
2. 患者の生年月日を入力します。
3. ボタンをタップします。
測定結果がソフトウェアseca analytics 125に送信されます。



データがseca analytics 125に送信されました

製品は、次の測定を行える状態になりました。

スタンドアロンでご使用の製品

電子カルテシステムまたはソフトウェアseca analytics 125に接続されていない製品で測定を完了するには、次の手順に従ってください:

1. 表示された測定値が妥当であることを確認してください。
2. 表示された測定値を患者カルテ等に記載します。
3. ボタンをタップします。
測定値と手動入力内容が破棄されます。
製品は、次の測定を行える状態になりました。

7. 環境設定

注意事項:

- 取扱説明書のこの部分で説明されている機能は、管理者およびホスピタルエンジニアのみを対象としています。
- 取扱説明書のこの部分には、測定操作およびパソコンネットワークとの連携のための製品環境設定についての情報が記載されています。



- ・本製品を、他の製品を含むパソコンネットワークと連携すると、患者、操作者、または第三者に、事前に知られていないリスクが生じる可能性があります。これらのリスクは運用者が責任をもって決定、分析、評価、管理する必要があります。

7.1 基本機能



作動モードの変更 製品をさまざまな使用状況に合わせてセットアップするには、以下の作動モードを使用します:

モード	機能	用途	推奨使用者グループ
ベーシック	<ul style="list-style-type: none"> ・測定機能: <ul style="list-style-type: none"> - 測定の実行 - 結果の読み取り ・メニューアクセスなし 	ガイド付き測定	病院スタッフ
アドバンス	<ul style="list-style-type: none"> ・測定機能: <ul style="list-style-type: none"> - 測定の実行 - 結果の読み取り - 追加機能の使用 ・メニュー: <ul style="list-style-type: none"> - 制限付き製品設定 	ガイド付き測定	病院スタッフ
エキスパート	<ul style="list-style-type: none"> ・測定機能: <ul style="list-style-type: none"> - 測定の実行 - 結果の読み取り - 追加機能の使用 ・メニュー: <ul style="list-style-type: none"> - 製品設定 - ネットワーク設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイド付き測定 ・製品の環境設定 ・ネットワーク接続 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院スタッフ ・ホスピタルエンジニア ・IT管理者
サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・測定機能: <ul style="list-style-type: none"> - 測定の実行 - 結果の読み取り - 追加機能の使用 ・メニュー: <ul style="list-style-type: none"> - 製品設定 - ネットワーク設定 - 追加サービス機能 	サービス	権限のあるサービスエンジニア

作動モードを選択するには、次の手順に従ってください:

1.  ボタンを、メニュー **Device mode (作動モード)** が表示されるまで押し続けます (約5秒)。現在の作動モードが表示されます。
2. 希望する作動モードをタップします。機能がオンになりました。
3. ヘッダーの  ボタンをタップします。メイン画面が表示されます。

メニューの呼出し/終了 メニューを呼び出すには、以下の手順に従ってください:

1.  ボタンをタップします。メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
2. メニューを終了するには、 ボタンをタップします。メイン画面が表示されます。

注意事項:

作動モードベーシックでは、メニューにアクセスできません。

取扱説明書のPDF版にアクセスする (QRコード)

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	.
エキスパート	.
サービス	.

QRコードをスキャンして本取扱説明書のPDF版にアクセスし、スマートフォンまたはタブレットPCにダウンロードすることができます。

QRコードをスキャンするには、次の手順に従ってください：

- ☰ ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
- ∨ ボタンまたは ∧ ボタンを、メニュー項目 **Manual (マニュアル)** が表示されるまでタップします。
- 項目 **Manual (マニュアル)** をタップします。
QRコードが表示されます。



- QRコードをスキャンします (スマートフォンまたはタブレットなどを使用)。
使用説明書のダウンロードサイト www.seca.com/support に案内されます。

7.2 測定

自動保持機能をオンにする

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	.
エキスパート	.
サービス	.

自動保持機能をオンにすると、測定プロセスの度に **Hold (保持)** 機能を手動でオンにする必要がなくなります。

超音波式身長計付きの製品では、この設定は身長の表示にも適用されません。

注意事項:

モデルによっては、この機能が工場出荷時にオンになっていることがあります。機能はオフにできます。

1. ☰ ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。



2. ▼ ボタンまたは ▲ ボタンを、メニュー項目 **自動保持** が表示されるまでタップします。
3. 希望の設定を選択します:
 - 機能がオン
 - 機能がオフ
4. メニューを終了するには、🏠 ボタンをタップします。

抑制機能の設定

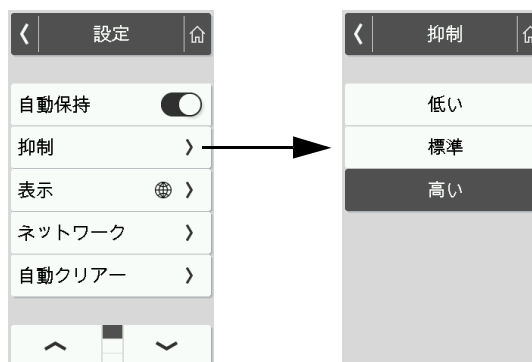
作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	・
エキスパート	・
サービス	・

Filter (抑制) 機能で、体重測定の際の誤動作を回避できます。選択した設定は、**保持/自動保持**機能がオンになっている場合、測定プロセスに以下の影響を及ぼします:

- ・ 体重表示が患者の動きに反応する感度
- ・ 体重値が継続表示されるまでの時間。

1. ☰ ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
2. ▼ ボタンまたは ▲ ボタンを、メニュー項目 **Filter (抑制)** が表示されるまでタップします。

3. 項目**Filter (抑制)**をタップします。
現在の設定が表示されます。



Filter (抑制)	体重測定
Low (低い)	速い
Medium (標準)	中
High (高い)	ゆっくり

4. 希望する抑制レベルをタップします。
設定がオンになりました。

注意事項:

設定**Low (低い)**を使用すると、安定して立ってられない患者の場合に、**Hold(保持)**機能がオンになっているにもかかわらず体重値が継続表示されないことがあります。

超音波身長測定の校正

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	-
エキスパート	.
サービス	.

本製品を使って初めて測定を行う前には、必ず身長測定を校正します。校正は、少なくとも年に1回、繰り返して行ってください。

自動校正プロセスは、次の2つのステップで構成されます:

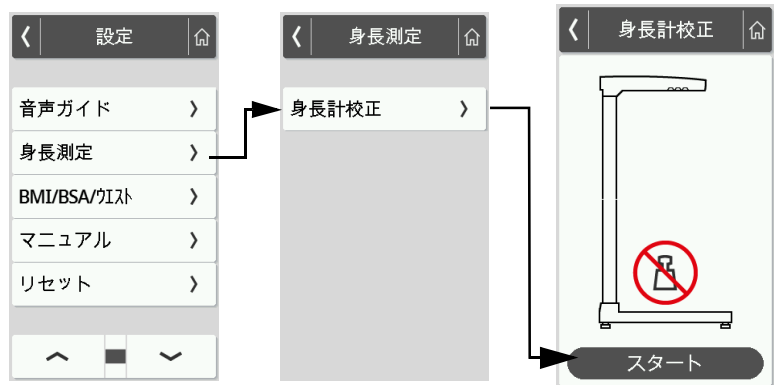
- 測定範囲全体にわたる校正
- 校正棒 (身長計に同梱) を使った校正。

注意事項:

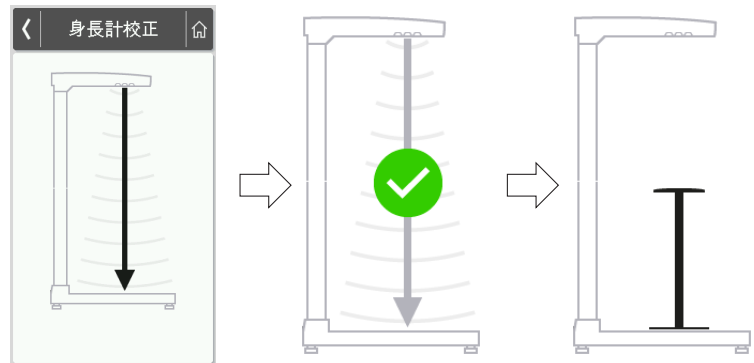
校正プロセスの実行中は、本製品の至近に物が無い、または人がいないことを確認します → [製品の設置、21ページ](#)。

- ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
- ボタンまたは ボタンを、メニュー項目**Height meas. (身長測定)**が表示されるまでタップします。
- メニュー項目**Height meas. (身長測定)**をタップします。

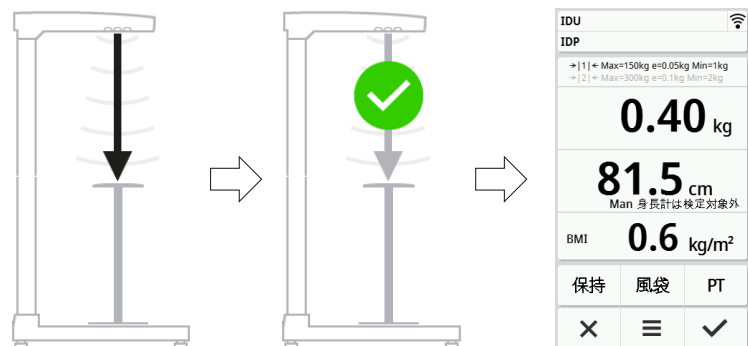
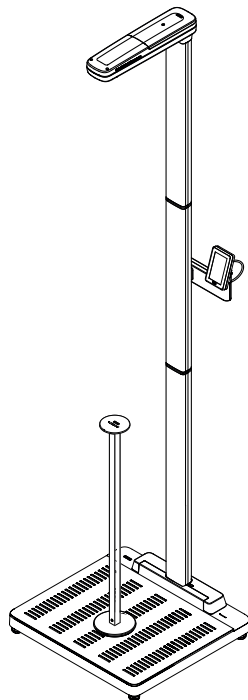
- メニュー項目 **Ultras. calibration (身長計校正)** をタップします。
ダイアログ **Ultras. calibration (身長計校正)** が表示されます:



- 体重計に何も載せられていないことを確認します。
- 測定機器から離れてください (距離は約0.5 m)。
- スタート** ボタンをタップします。
校正プロセスの最初のステップが始まります。
- 校正プロセスの第一部が完了するまで待ちます。
製品が、校正棒を計量台の上に立てるように促します:



- 校正棒を計量台の点灯している足形の中央に立てます。
校正プロセスの第二ステップが始まります:
- 校正プロセスの第二部が完了するまで待ちます。
メイン画面が再び表示されます。



- 計量台から校正棒を取り除きます。
本製品は、測定可能な状態になりました。

BMI/BSA/ウエストの選択

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	-
エキスパート	.
サービス	.

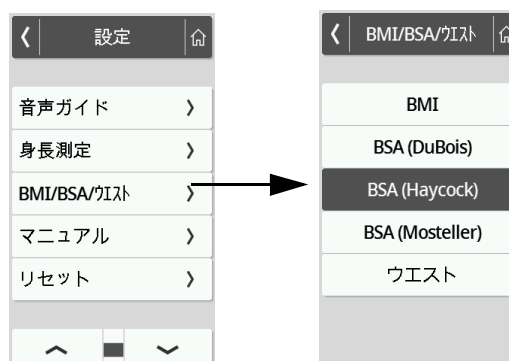
患者の体重と身長が分かった時点で製品がボディマス指数 (BMI) あるいは体表面積 (BSA) を算定するかを指定することができます。

Waist circumf. (ウエスト) を手動で入力できるように製品を設定することもできます。

注意事項:

設定 **Waist circumf. (ウエスト)** を選択した場合、BMI/BSAの自動算定はできません。

- ☰ ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
- ∨ ボタンまたは ⤴ ボタンを、メニュー項目 **BMI/BSA/WC (BMI/BSA/ウエスト)** が表示されるまでタップします。
- 項目 **BMI/BSA/WC (BMI/BSA/ウエスト)** をタップします。
- 希望する設定をタップします:
設定がオンになりました。



7.3 ディスプレイ設定の調整

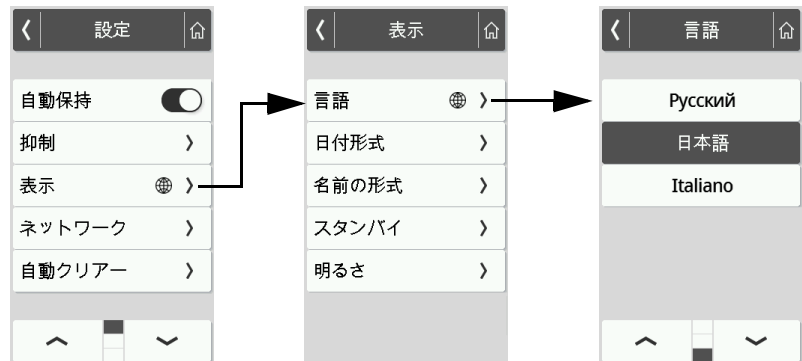
ディスプレイ言語の設定


作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	.
エキスパート	.
サービス	.

ディスプレイ言語を設定することができます

- ☰ ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
- ∨ ボタンまたは ⤴ ボタンを、メニュー項目 **表示** が表示されるまでタップします。
- メニュー **表示** で項目 **Language (言語)** を選択します。

- 希望する言語をタップします。
設定がオンになりました。






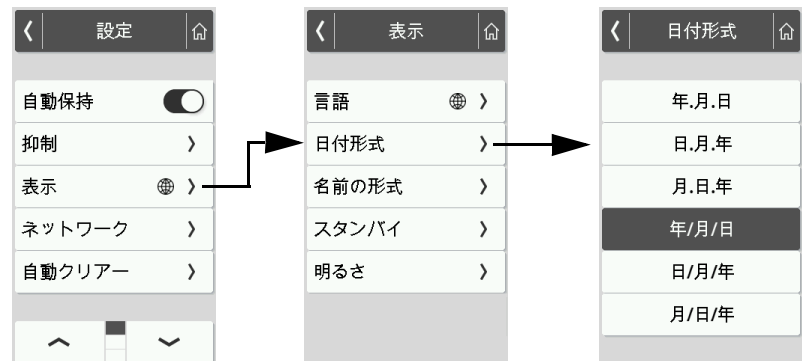
- メニューを終了するには、 ボタンをタップします。


日付表示形式の設定

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	.
エキスパート	.
サービス	.

患者の生年月日が表示される形式を設定できます。

-  ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
-  ボタンまたは  ボタンを、メニュー項目 **表示** が表示されるまでタップします。
- メニュー **表示** で項目 **Date format (日付形式)** を選択します。
- 希望する日付形式をタップします。
設定がオンになりました。



- メニューを終了するには、 ボタンをタップします。

スタンバイ時間の設定

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	.
エキスパート	.
サービス	.

マルチ機能ディスプレイが消える (スタンバイ) までの時間を設定できます。

**警告！
感電**

ディスプレイが消えても、製品の電源は切られていません。

- ▶ 製品にはオン/オフスイッチがありません。衛生管理やメンテナンスのためなど、製品を無通電にする必要がある場合は、必ずACアダプターを抜き取ってください。

1. ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
2. ボタンまたは ボタンを、メニュー項目**表示**が表示されるまでタップします。
3. メニュー**表示**で項目**Standby(スタンバイ)**を選択します。
4. 希望する設定をタップします。
設定がオンになりました。
ディスプレイは設定した時間の経過後、消えます。

**注意事項:**

メニュー**Standby(スタンバイ)**で設定**Off (オフ)**を選択した場合、マルチ機能ディスプレイはずっとオンのままとなります。

5. メニューを終了するには、 ボタンをタップします。

ディスプレイの明るさの設定

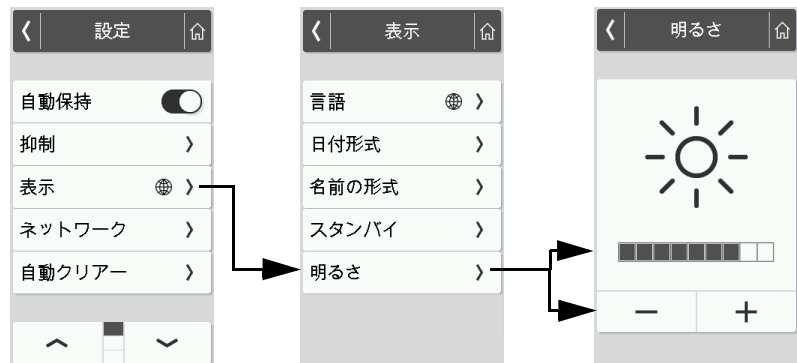
作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	・
エキスパート	・
サービス	・


ディスプレイの明るさは段階的に調整できます (0 = オフ、9 = 最大)。

1. ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
2. ボタンまたは ボタンを、メニュー項目**表示**が表示されるまでタップします。
3. メニュー**表示**で項目**Brightness (明るさ)**を選択します。

4. 明るさを設定します:
- ▶ プラス/マイナスのボタンをタップする
 - ▶ 選択バーのレベルをタップする

設定がオンになりました。



5. メニューを終了するには、 ボタンをタップします。

7.4 ネットワーク機能のセットアップ



注意！

誤作動、正常でない測定結果

ネットワーク設定が正しく行われていないと、測定結果が誤って割り当てられたり、失われたりする可能性があります。

- ▶ 本節に記載されているステップは、管理者またはホスピタルエンジニアに実行を依頼してください。不明な点はsecaサービスにお問い合わせください。

注意事項:

製品がWi-Fiネットワークに接続されると、**自動保持機能**が自動的にオンになります。**自動保持機能**は、製品がWi-Fiネットワークに接続されている間はオフにすることができません。

電子カルテシステムまたはソフトウェア **seca analytics 125** で測定値を電子患者カルテに割り当てることができるようにするには、次の前提条件を満たす必要があります:

- 製品がソフトウェア **seca connect 103** でセットアップされている
- 製品がLANまたはWi-Fi接続を介してネットワークに接続されている
- ソフトウェア **seca connect 103** で、電子カルテシステムまたはソフトウェア **seca analytics 125** 用のインターフェースがセットアップされている
- バーコードスキャナーが本製品に接続されている



電子カルテシステムに接続されている場合、測定プロセスは次の手順で構成されます:

- バーコードスキャナーでIDを読み込む
- 製品で測定をする
- 測定結果をソフトウェア **seca connect 103** を介して電子カルテシ

テムに転送する

注意事項:

測定プロセス (ワークフロー設定) は、ソフトウェア **seca connect 103** で個別に調整できます。

ソフトウェアseca connect 103で製品をセットアップする

製品と電子カルテシステムの間でデータ転送するには、製品をソフトウェア **seca connect 103** でセットアップする必要があります。また、電子カルテシステム会社によるインターフェースの設定が別途必要です。詳細は info@seca.co.jp までお問合せください。

seca connect 103 でセットアップするには、主に次のデータを入力する必要があります:

- 製品名
 - 設置場所
 - ワークフロー設定 (測定プロセス)
 - **seca connect 103** サーバーのアドレス
 - ネットワークポート
1. ソフトウェア **seca connect 103** のシステム使用説明に従って、ソフトウェア **seca connect 103** で製品をセットアップします。
ソフトウェアが入力された情報を含むQRコードを作成します。
 2. バーコードスキャナーが製品に接続されていることを確認します
→ [バーコードスキャナーの接続 \(オプション\)](#)、[22ページ](#)。
 3. ソフトウェアのユーザインタフェース、または紙に印刷されたものから、QRコードをスキャンします。
ソフトウェア **seca connect 103** で行った設定が、製品に保存されます。
 4. 続行には以下の方法があります:
 - ▶ LAN: LANケーブルを使用して製品をネットワークに接続する
 - ▶ Wi-Fi: → [製品をWi-Fiネットワークに接続する \(seca connect 103\)](#)、[44ページ](#)

気をつけて!

誤作動

測定結果を電子カルテシステムに送信できるようにするには、ソフトウェア **seca connect 103** と電子カルテシステムの間インタフェースを設定する必要があります。




- ▶ **seca connect 103** のシステム使用説明を参照してください。
- ▶ インタフェースのセットアップは、お使いの電子カルテシステムの製造元と協力して行ってください。


IPアドレスの入力

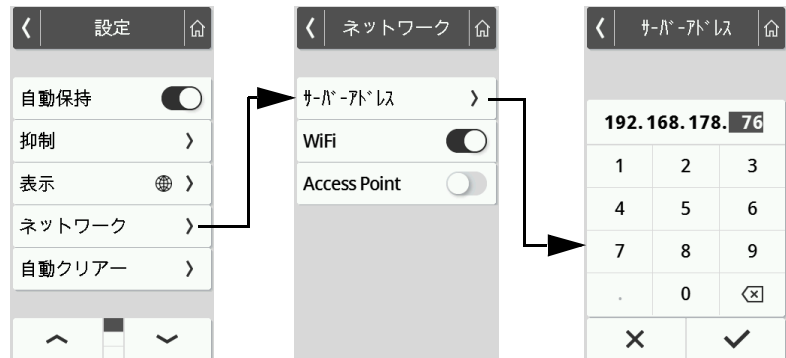
作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	-
エキスパート	.
サービス	.

注意事項:

手動入力、製品にバーコードスキャナーが接続されていない場合にのみ必要となります。バーコードスキャナーが接続されている場合は、ソフトウェア **seca connect 103** からネットワーク接続をセットアップできます。

1.  ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
2.  ボタンまたは  ボタンを、メニュー項目 **Network (ネットワーク)** が表示されるまでタップします。
3. 項目 **Network (ネットワーク)** をタップします。
4. 項目 **Server address (サーバアドレス)** をタップします。




5. ソフトウェア **seca connect 103** がインストールされているサーバのIPアドレスを入力します:
 - a) 値の入力
 - b) 入力を  ボタンで確定

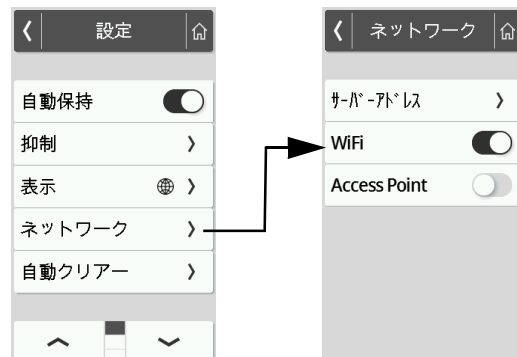





6. 続行には以下の方法があります:
 - ▶ LANケーブルを使用して製品をネットワークに接続する
 - ▶ Wi-Fi接続の確立 → [製品をWi-Fiネットワークに接続する \(seca connect 103\)](#)、44ページ

Wi-Fi機能をオン/オフにする

Wi-Fi機能をオン/オフにするには、次の手順に従ってください:

1.  ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
2.  ボタンまたは  ボタンを、メニュー項目 **Network (ネットワーク)** が表示されるまでタップします。
3. 項目 **Network (ネットワーク)** をタップします。
現在の設定が表示されます。




4. 項目 **WiFi** で希望の設定をタップします:
 -  機能がオン
 -  機能がオフ
5. メニューを終了するには、 ボタンをタップします。

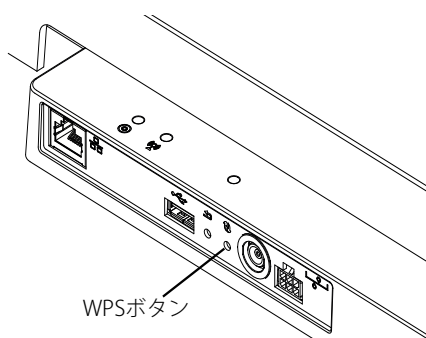
製品をWi-Fiネットワークに接続する (seca connect 103)

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	-
エキスパート	.
サービス	.


ルーターのWPS機能へのアクセス権がない場合や複数の製品を接続したい場合は、ソフトウェア **seca connect 103** を介して本製品をWi-Fiネットワークに接続します:

1. 製品のWi-Fi機能がオンになっていることを確認してください
→ [Wi-Fi機能をオン/オフにする、44ページ](#)。
2. ソフトウェアのシステム使用説明に従って、Wi-Fiネットワークのデータをソフトウェア **seca connect 103**に入力します。
ソフトウェアが入力された情報を含むQRコードを作成します。
3. バーコードスキャナーが製品に接続されていることを確認します
→ [バーコードスキャナーの接続\(オプション\)、22ページ](#)。
4. ソフトウェアのユーザインタフェースからQRコードをスキャンします。
ソフトウェア **seca connect 103**で行った設定が、製品に保存されます。
本製品とWi-Fiネットワークのルーターの接続準備をしています。
本製品がWi-Fiネットワークと接続されると、シンボル  が点灯します。

製品をWi-Fiネットワークに接続する (WPS)



製品にバーコードスキャナーが接続されておらず、ルーターにアクセスできる場合は、WPSを介して製品をWi-Fiネットワークに接続します。

1. 製品のWi-Fi機能がオンになっていることを確認してください
→ [Wi-Fi機能をオン/オフにする、44ページ](#)。
2. ルーターおよび計量台の接続パネルにあるWPSボタンを押します。
本製品とWi-Fiネットワークのルーターの接続準備をしています。
本製品がWi-Fiネットワークと接続されると、シンボル  が点灯します。

気をつけて！

誤作動、不完全なデータ転送

ソフトウェア **seca connect 103**を介して測定データを電子カルテシステムに送信するには、追加の設定を行う必要があります。




- ▶ **seca connect 103**のシステム使用説明を参照してください。


測定値を自動で削除する(自動クリア)

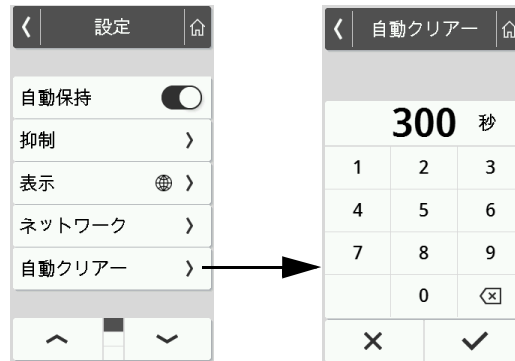
作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	-
エキスパート	.
サービス	.


古くなった測定結果と患者のデータは、誤ったボディマス指数 (BMI) または体表面積 (BSA) 算定、または妥当でない生体インピーダンス分析につながります。次のパラメータで、自動的に削除されるまでの時間を設定できます:

- 体重
- 身長
- BMI
- BSA

1.  ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
2.  ボタンまたは  ボタンを、メニュー項目 **自動クリア** が表示されるまでタップします。
3. 項目 **自動クリア** をタップします。

4. 製品が測定結果と患者のデータを破棄するまでの時間を入力します:
 - a) 値を入力する (最小: 1秒、最大: 3600秒/1時間)
 - b) 入力を  ボタンで確定






5. メニューを終了するには、 ボタンをタップします。

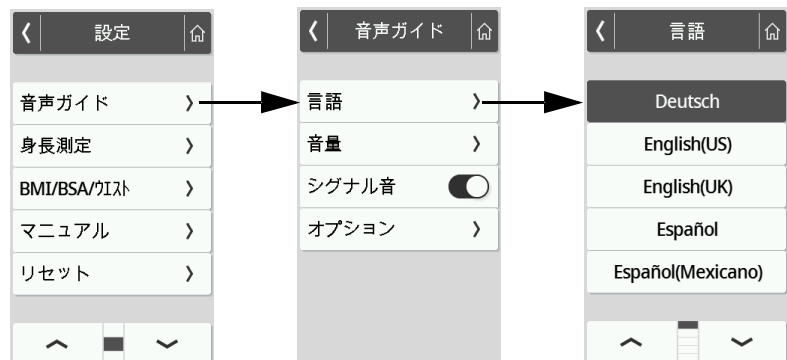
7.5 音声ガイダンスの設定


言語の選択

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	.
エキスパート	.
サービス	.

言語を変更するには、次の手順に従ってください:

1.  ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
2.  ボタンまたは  ボタンを、メニュー項目 **Voice guidance (音声ガイド)** が表示されるまでタップします。
3. メニュー **Voice guidance (音声ガイド)** で項目 **Language (言語)** を選択します。



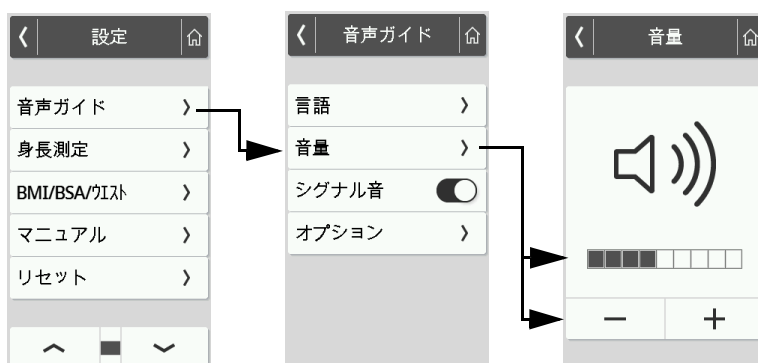
4. 言語を選択します。
 - a) 希望の言語がディスプレイに表示されるまで、矢印ボタンをタップする
 - b) 希望の言語をタップする
設定がオンになりました。
5. メニューを終了するには、 ボタンをタップします。

音響の設定

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	.
エキスパート	.
サービス	.

音声出力の音量は段階的に調整できます (0 = オフ、9 = 最大)。

- ☰ ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
- ☑ ボタンまたは ☒ ボタンを、メニュー項目 **Voice guidance (音声ガイド)** が表示されるまでタップします。
- メニュー **Voice guidance (音声ガイド)** で項目 **Volume (音量)** を選択します。



- 音量を設定します:
 - ▶ プラス/マイナスのボタンをタップする
 - ▶ 選択バーのレベルをタップする
 設定がオンになりました。
- メニューを終了するには、🏠 ボタンをタップします。

シグナル音をオン/オフにする

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	-
エキスパート	.
サービス	.

身長測定のシグナル音をオンにして、測定プロセスの開始と終了を通知させることができます。

- ☰ ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
- ☑ ボタンまたは ☒ ボタンを、メニュー項目 **Voice guidance (音声ガイド)** が表示されるまでタップします。

- メニュー**Voice guidance (音声ガイド)**で項目**Beeps (シグナル音)**を選択します。



- 項目 **Beeps (シグナル音)** で希望の設定を選択します:
 - 機能がオン
 - 機能がオフ
- メニューを終了するには、**ホーム** ボタンをタップします。

患者への指示のアナウンスをオン/オフにする (測定)

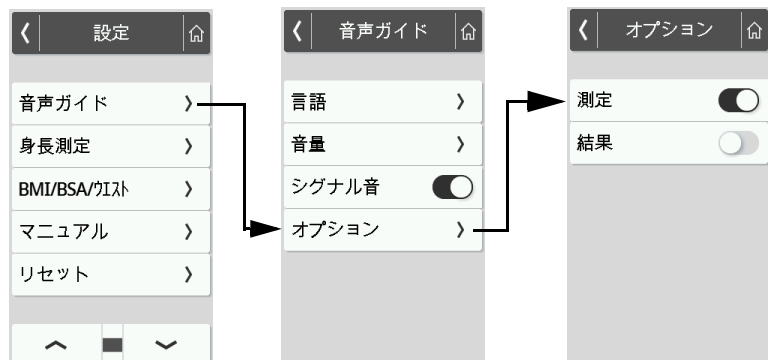
作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	-
エキスパート	.
サービス	.

測定プロセスの間、患者が音声ガイダンスによってガイドされるよう、製品を設定できます。

注意事項:

患者が理解できる言語を選んでください → [言語の選択](#)、46ページ。

- ☰** ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
- ∨** ボタンまたは **∧** ボタンを、メニュー項目**Voice guidance (音声ガイド)**が表示されるまでタップします。
- メニュー**Voice guidance (音声ガイド)**で項目**Options (オプション)**を選択します。



- 項目 **Meas. (測定)** で希望の設定を選択します:
 - 機能がオン
 - 機能がオフ
- メニューを終了するには、**ホーム** ボタンをタップします。

測定結果のアナウンスをオン/オフにする (結果)

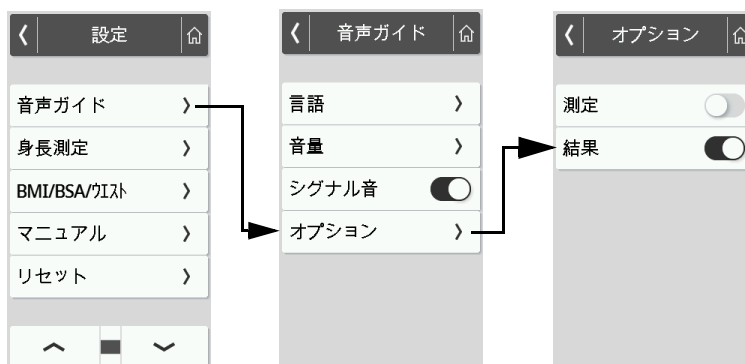
作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	-
エキスパート	.
サービス	.

本製品は、測定プロセスのたびに測定結果(体重、身長、BMI)がアナウンスされるように設定することができます。

注意事項:

患者が理解できる言語を選んでください → [言語の選択](#)、46ページ。

- ☰ ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
- ∨ ボタンまたは ⤴ ボタンを、メニュー項目**Voice guidance (音声ガイド)**が表示されるまでタップします。
- メニュー**Voice guidance (音声ガイド)**で項目**Options (オプション)**を選択します。



- 項目 **Results (結果)** で希望の設定を選択します:
 - 機能がオン
 - 機能がオフ
- メニューを終了するには、🏠 ボタンをタップします。

7.6 工場設定

作動モード	機能を利用可能
ベーシック	-
アドバンス	-
エキスパート	.
サービス	.

工場設定の概要

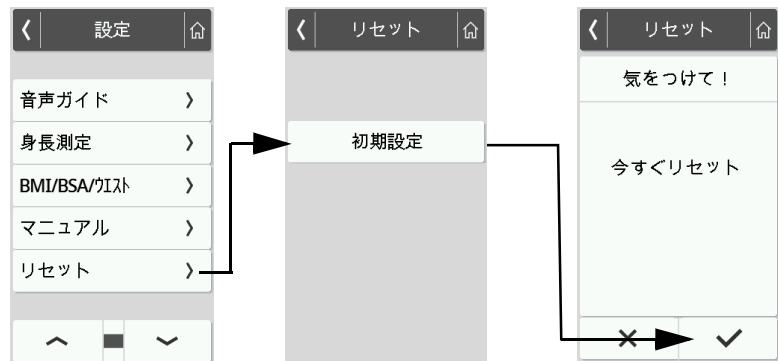
機能	工場設定
Hold (保持)	Off (オフ)
Tare (風袋)	0 kg
Pre-tare (プリセット風袋)	0 kg
Height (身長)	0 cm
Autohold (自動保持)	Off (オフ)
Device mode (作動モード)	Expert (エキスパート)
Autoclear (自動クリア)	300秒
Filter (抑制)	低い
Display: Language (表示: 言語)	英語

機能	工場設定
Display: Date format (表示: 日付形式)	YYYY/MM/DD
Display: スタンバイ (表示: スタンバイ)	Off (オフ)
Display: Brightness (表示: 明るさ)	レベル7/9
Voice guidance: Language (音声ガイド: 言語)	英語
Voice guidance: Volume (音声ガイド: 音量)	レベル5/9
Voice guidance: Beeps (音声ガイド: シグナル音)	On (オン)
Voice guidance: Meas. (音声ガイド: 測定)	On (オン)
Voice guidance: Results (音声ガイド: 結果)	On (オン)
BMI/BSA/WC (BMI/BSA/ウエスト)	BMI
Units (単位)	メートル法 (kg、cm)
Server address (サーバアドレス)	なし
WiFi ^a	On (オン)
Access Point (アクセスポイント) ^a	Off (オフ)

a. 工場設定を復元した際に、個別設定はリセットされません。

工場設定の復元

- ☰ ボタンをタップします。
メニュー **Settings (設定)** が表示されます。
- ▼ ボタンまたは ▲ ボタンを、メニュー項目 **Voice guidance (音声ガイド)** が表示されるまでタップします。
- 項目 **Reset (リセット)** をタップします。



- Factory settings (初期設定)** ボタンをタップします。
製品は工場設定にリセットされます。
次のネットワーク設定はリセットされません:
 - サーバアドレス
 - サーバポート
 - Wi-Fi
 - アクセスポイント
- 選択を確定します。
- ✓ ボタンでディスプレイのクエリを確定します。
メニューは自動的に終了します。
製品は工場設定にリセットされます。

8. 衛生管理



警告！ 感電

ディスプレイが消えても、製品の電源は切られていません。製品で液体を使用する場合、感電の可能性があります。

- ▶ 衛生管理を実施する前は、必ず AC アダプターを抜いてください。
- ▶ 液体が製品に入り込まないようにしてください。

気をつけて！

製品の破損

不適切な洗浄剤および消毒剤は、製品のデリケートな表面を損傷する可能性があります。

- ▶ アルコールベース（エタノール 70 % など）の消毒剤以外は使用しないでください。
- ▶ クレンザーや刺激性のクリーナーは使用しないでください。
- ▶ 清掃中に液体やほこりがセンサーに入らないように気をつけてください。

8.1 清掃

- ▶ 製品の表面は必要に応じて、薄めた石鹼液で湿らせた柔らかい布で清掃してください。

8.2 消毒

1. アルコールベース（エタノール 70 % など）の消毒剤を使用してください。
2. 消毒剤の使用説明書を参照してください。
3. 製品を消毒します：
 - ▶ 柔らかい布を消毒剤で湿らせ、その布で製品の表面を清掃してください。
 - ▶ 消毒のタイミングに注意してください（表を参照）。

消毒するタイミング	対象
各測定前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計量台 ・ ハンドレール（ハンドレール付き製品）
各測定後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計量台 ・ ハンドレール（ハンドレール付き製品）
必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ マルチ機能ディスプレイ ・ ポール（身長計付き製品） ・ 測定ヘッド（身長計付き製品）

8.3 滅菌

製品の滅菌は行わないでください。

9. 機能点検

- ▶ 製品の使用前には必ず機能点検を行ってください。

完全な機能点検には以下が含まれます。

- 機械的損傷の目視検査
- 製品の水平の確認
- 表示部の目視検査および機能検査
- 「概観」の節で説明されている全操作部の機能検査
- オプション・アクセサリーの機能検査

機能検査でエラーや異常が発見された場合は、まずはこの文書の「障害とその対処法」の節に従ってそのエラーに対処してください。



注意！ 人身傷害

機能検査でエラーや異常が発見され、それを「障害とその対処法」の節に従っても解決できなかった場合、それ以降、製品は使用しないでください。

- ▶ 製品の修理は seca サービスまたは正規のサービス担当者に依頼してください。
- ▶ この文書の「メンテナンス」の節に留意してください。

10. 障害とその対処法

製品の操作中に障害が発生した場合、次の表を参考にして、まずはご自分で解消を試みてください。それでも故障が解消されない場合は、seca サービスまでお問い合わせください。

一部の障害では、マルチ機能ディスプレイにエラーコードが表示されません。seca サービスへのお問い合わせの際には、このエラーコードをお伝えください。

ディスプレイメッセージ、およびエラーコードの構造に関する情報は、こちらをご覧ください：


- [ディスプレイメッセージの信号システム、56ページ](#)
- [エラーコード、57ページ](#)

10.1 一般的な障害

トラブル	原因	処置方法
メニューにアクセスできない	作動モードベーシックが有効になっている	他の作動モードでの動作が可能であるかどうかについて、管理者/ホスピタルエンジニアに相談します • → 作動モードの変更、34ページ • → 機能/作動モード、61ページ
希望の機能が利用できない	その機能が想定されていない作動モードが有効になっている	他の作動モードでの動作が可能であるかどうかについて、管理者/ホスピタルエンジニアに相談します • → 作動モードの変更、34ページ • → 機能/作動モード、61ページ


トラブル	原因	処置方法
ボタンを押してもマルチ機能ディスプレイが反応しない	製品は、不適切なデータが入力され、想定外の状態に置かれている。	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプターをコンセントから抜きます 約1分待機 ACアダプターをコンセントに差し込みます。製品とマルチ機能ディスプレイが自動的にオンになります
	ハンドレールまたは超音波式身長計(あるいはその両方)と製品のコンビネーションの場合: 追加ディスプレイが接続されている	<ul style="list-style-type: none"> 第二ディスプレイを取り外します ACアダプターをコンセントから抜きます 約1分待機 ACアダプターをコンセントに差し込みます。製品とマルチ機能ディスプレイが自動的にオンになります
タップしてもマルチ機能ディスプレイが明るくならない	製品は、不適切なデータが入力され、想定外の状態に置かれている。	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプターをコンセントから抜きます 約1分待機 ACアダプターをコンセントに差し込みます。製品とマルチ機能ディスプレイが自動的にオンになります
	マルチ機能ディスプレイの故障	secaサービスに連絡する

10.2 体重測定

トラブル/エラーコード	原因	処置方法
表示された体重値が妥当でない	体重測定電子機器が古いゼロ値を使用している	<ul style="list-style-type: none"> 計量台から負荷を取り除く ディスプレイフィールドWeight (体重)をタップします ボタン  をタップします: 製品再起動 メイン画面が再び表示されるまで待ちます
	体重測定電子機器の故障	secaサービスにご連絡ください
機能自動保持を無効にできない	製品がネットワークと接続されている(所定の動作): 機能 自動保持 が自動的に有効になる。	必要に応じて、製品をネットワークから分離します
001-272XX-XXX ～ 008-272XX-XXX	ロードセルまたは重量認識モジュールの故障	secaサービスにご連絡ください
020-272XX-XXX ～ 023-272XX-XXX	荷重が体重計の片隅にかかりすぎている。	<ul style="list-style-type: none"> 体重を均等にかけます
		<ul style="list-style-type: none"> ACアダプターをコンセントから抜きます ACアダプターをコンセントに差し込みます。製品とマルチ機能ディスプレイが自動的にオンになります secaサービスにご連絡ください
010-272XX-XXX	体重計に重いものが載せられた状態でスイッチがオンになりました。	<ul style="list-style-type: none"> 計量台から負荷を取り除く ACアダプターをコンセントから抜きます ACアダプターをコンセントに差し込みます。製品とマルチ機能ディスプレイが自動的にオンになります
013-272XX-XXX	体重計が固有振動状態になり、ゼロ値を検出できなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプターをコンセントから抜きます ACアダプターをコンセントに差し込みます。製品とマルチ機能ディスプレイが自動的にオンになります




トラブル/エラーコード	原因	処置方法
019-272XX-XXX	周囲の温度が高すぎる、または低すぎる。	・ 運転、輸送と保管時の環境条件を守ります → 一般的な技術データ、61ページ

10.3 身長測定、超音波

トラブル/エラーコード	原因	処置方法
シンボル  が校正中に現れる	校正できなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校正中に、本製品の至近に物体がなく、人物もいないことを確認します ・ 同梱の校正棒が使用されたことを確認します ・ 校正棒が計量台の足形の中央に立っていることを確認します
超音波測定ヘッドのLED「動作状態」が点灯しない	製品は、不適切なデータが入力され、想定外の状態に置かれている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ACアダプターをコンセントから抜きます ・ 約1分待機 ・ ACアダプターをコンセントに差し込みます。製品とマルチ機能ディスプレイが自動的にオンになります
	超音波測定ヘッド内の配線が不適切	対応する組立説明書の記載通りに超音波測定ヘッドの配線をし直します
	LED「動作状態」が故障している。	secaサービスに連絡
計量台の足形が点灯しない	製品は、不適切なデータが入力され、想定外の状態に置かれている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ACアダプターをコンセントから抜きます ・ 約1分待機 ・ ACアダプターをコンセントに差し込みます。製品とマルチ機能ディスプレイが自動的にオンになります
	計量台の足形が故障している。	secaサービスに連絡
患者への指示がアナウンスされない	機能がオンになっていない	機能をオンにする → 患者への指示のアナウンスをオン/オフにする (測定)、48ページ
	音量がゼロに設定	音量を上げる
	スピーカーの故障	secaサービスに連絡
シグナル音が聞こえない	機能がオンになっていない	機能をオンにする → シグナル音をオン/オフにする、47ページ
	音量がゼロに設定	音量を上げる
	スピーカーの故障	secaサービスに連絡
測定結果がアナウンスされない	機能がオンになっていない	機能をオンにする → 測定結果のアナウンスをオン/オフにする (結果)、49ページ
	音量がゼロに設定	音量を上げる
	スピーカーの故障	secaサービスに連絡
080-297XX-XXX	音声出力メモリを読むことができない。	secaサービスに連絡 シグナル音と音声出力をオフにして、修理されるまでの間エラーメッセージを非表示にします： <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者への指示のアナウンスをオフ → 患者への指示のアナウンスをオン/オフにする (測定)、48ページ ・ 測定結果のアナウンスをオフ → 測定結果のアナウンスをオン/オフにする (結果)、49ページ ・ シグナル音をオフ → 音声ガイダンスの設定、46ページ


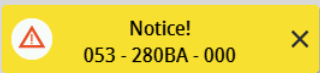
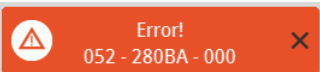
トラブル/エラーコード	原因	処置方法
081-297XX-XXX	言語ファイルが見つからない。	secaサービスに連絡
		シグナル音と音声出力をオフにして、修理されるまでの間エラーメッセージを非表示にします： <ul style="list-style-type: none"> 患者への指示のアナウンスをオフ→ 患者への指示のアナウンスをオン/オフにする (測定)、48ページ 測定結果のアナウンスをオフ→ 測定結果のアナウンスをオン/オフにする (結果)、49ページ シグナル音をオフ→ シグナル音をオン/オフにする、47ページ
082-297XX-XXX	測定プロセス中にエラーが発生した。	測定プロセスを再度行い、患者にじっとしたまま立ち続けるようにお願いします エラーが再発する場合は、secaサービスにご連絡ください
083-297XX-XXX	校正プロセス中にエラーが発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 本製品のすぐ近くにある物体を遠ざけます → 製品の設置、21ページ。 周囲にいる人物に、本製品からもっと離れるようにお願いします → 製品の設置、21ページ
	反射による障害	
	他の超音波発信機による障害	他の超音波発信機との間隔を広げます → 製品の設置 、21ページ
084-297XX-XXX	周囲の温度が高すぎる、または低すぎる。	<ul style="list-style-type: none"> 運転、輸送と保管時の環境条件を守ります → 一般的な技術データ、61ページ
	温度センサーが故障している。	secaサービスに連絡

10.4 データ転送

トラブル/エラーコード	原因	処置方法
 ボタンを押した後に、ダイアログウィンドウ「生年月日」が現れる	患者IDがスキャンされていない	<ul style="list-style-type: none"> ✗ ボタンを押します 患者IDをスキャンします
	IDのスキャンがセットアップされていない	本製品用のワークフロー設定をソフトウェア seca connect 103 で点検します
	患者カルテが電子カルテシステムにまだない	<ul style="list-style-type: none"> 生年月日を入力し、 ボタンを再度押します 患者カルテを電子カルテシステム内に作成し、測定を割り当てます
	製品がソフトウェア seca analytics 125 と接続されている	<ul style="list-style-type: none"> 生年月日を入力します  ボタンを押します
自動クリア機能: 入力「0秒」が受け入れられず、その代わりに工場設定 (300秒) が提案される	不適切な入力、工場出荷時にこの機能をオフにする想定なし	<ul style="list-style-type: none"> 工場設定を適用します 1~3600秒の値を手動入力します
LED「測定プロセス」が点灯しない	ネットワーク接続なし	ネットワーク接続をセットアップします → ネットワーク機能のセットアップ 、42ページ
	Wi-Fi機能がオフ	Wi-Fi機能をオンにします → Wi-Fi機能をオン/オフにする 、44ページ
	LED「測定プロセス」が故障している。	secaサービスに連絡

トラブル/エラーコード	原因	処置方法
LED「測定プロセス」が赤く点灯する	IDが電子カルテシステムにもsecaソフトウェアにもない	IDを電子カルテシステムまたはsecaソフトウェア内に作成します
	製品が測定結果を一時保存しなかった。	測定を繰り返します
	測定結果が電子カルテシステムにもsecaソフトウェアにも送信されなかった。	<ul style="list-style-type: none"> 測定を繰り返します Wi-Fi接続を点検します
02-288XX-XXX	データ転送できない	ネットワーク設定とワークフロー設定を点検します： <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク設定を点検します → ネットワーク機能のセットアップ、42ページ ワークフロー設定を点検します： seca connect 103のシステム取扱説明書
052-280XX-XXX	製品内部の通信エラー	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプターをコンセントから抜きます 約1分待機 ACアダプターをコンセントに差し込みます。製品とマルチ機能ディスプレイが自動的にオンになります
		<ul style="list-style-type: none"> secaサービスにご連絡ください
420-280XX-XXX	サーバへの接続なし	<ul style="list-style-type: none"> LANケーブルを点検します ネットワーク設定を点検します → ネットワーク機能のセットアップ、42ページ

10.5 ディスプレイメッセージの信号システム

シンボル	説明
	緑： アクションが正常に完了、例えば電子カルテシステムまたはソフトウェアseca analytics 125へのデータ送信など
	黄： この取扱説明書のエラー表を参照して、使用者が解決することが可能な誤操作または機能障害 (→ 障害とその対処法、52ページ)。
	赤： 使用者が解決できない製品エラー。seca サービスに連絡してください。

10.6 エラーコード

Notice!		
420 - 288BA - 555		
→[1]← Max=150kg e=0.05kg Min=1kg →[2]← Max=300kg e=0.1kg Min=2kg		
0.00 kg		
-.- cm		
BMI -.- kg/m ²		
保持	風袋	PT
×	☰	✓

420 - 288BA - 555

- モデル番号、ここでは:体重計seca mBCA 555
- 当該コンポーネントのファームウェアバージョン、ここでは:インデックス「A」
- 当該コンポーネントのハードウェアバージョン、ここでは:インデックス「B」
- 当該コンポーネント、ここでは:288 = インタフェースモジュール
- エラー番号、ここでは:420 = サーバへの接続なし

11. メンテナンス



本体重量計は国家検定付です。

製品本体に貼付もしくは印字されている「2mm 角ほどの検定証印が刻印された 1cm 四方のアルミ板」/「基準適合証印」が検定付である事の証明となります。

検定付製品の為、各都道府県で 2 年毎に実施される定期検査を必ず受けてください。

定期検査不合格の場合は、メーカー側での修理・再検定取得が必要となります。

気をつけて！

不適切なメンテナンスによる誤測定

- メンテナンスおよび修理は、必ず seca サービスにご依頼ください。
- お問い合わせ先：info@seca.co.jp/043-216-0850

各国の法的規定に基づき検定は有資格者に依頼し、実施してください。

1 つもしくは複数の安全マークが損傷している、もしくは度量衡メーター内容が有効な度量衡メーター標と一致していない場合には、その都度、検定が必要になります。安全標に傷が付いている場合、seca サービスに直にご連絡ください。

検定は、資格を有する機関の手によってのみ実施されます。これを確実にを行うために、この体重計は度量衡メーターを備えています。メーターは検定技術関連のデータの変更をすべて記録します。さらに、製品が使用している GAL (測位) 値を読み取ることができます。

この体重計が規定通りの検定を受けているかを確認したいときには、次のように行ってください。

- ☰ ボタンをタップします。
メニュー **Settings** (設定) が表示されます。
- メニューで項目 **About** (製品情報) を選択します。

3.   ボタンで、ビュー Verification (検定情報) を選択します。



4. GAL (測位) 値を読み取ります (図の値は一例です) 。



5. 度量衡メーターを読み取ります。



値が、度量衡メーター標に記載されている数値と一致する必要があります (図の値は一例です) 。

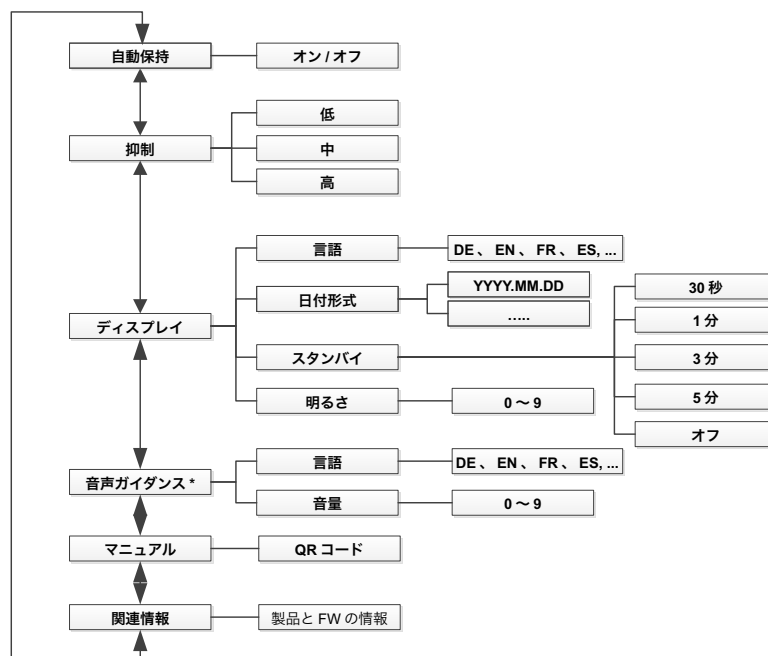
度量衡の検定が有効であるためには、両方の数値が一致している必要があります。標識とメーターの数値が一致していない場合には、再検定が必要になります。seca サービスにお問い合わせください。再検定が実施されると、更新された度量衡メーターと同じ標識が製品に貼付されます。この度量衡メーター標識の取り扱い、seca サービスもしくは認定された有資格者のみとなります。

12. 技術データ

12.1 メニュー構成

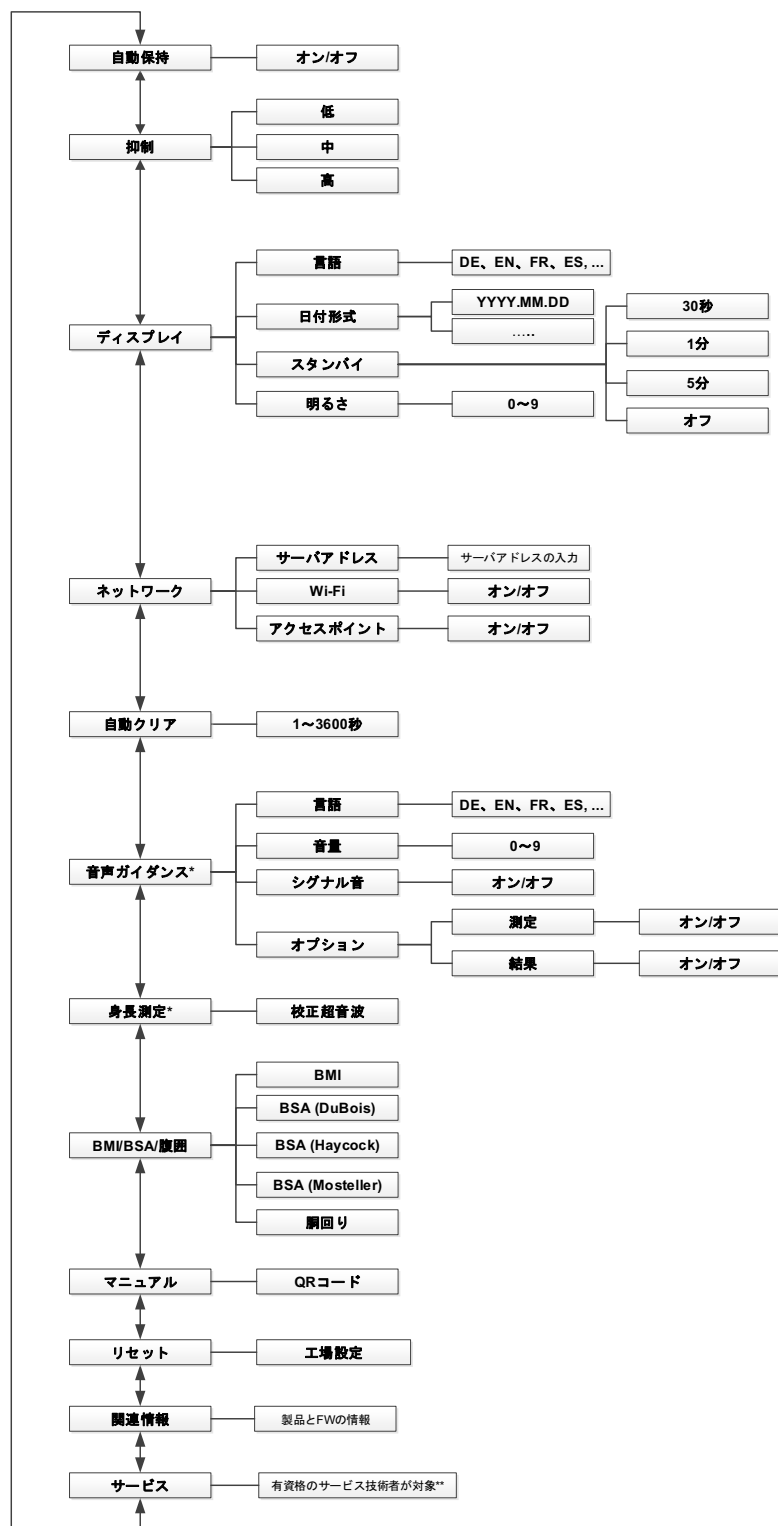
作動モード「ベーシック」 作動モードベーシックではメニューにアクセスできません。

作動モード「アドバンス」



*身長計を備えた製品のコンビネーション

作動モード「エキスパート」/
「サービス」



*身長計を備えた製品のコンビネーション

**サービス担当者: www.seca.comまたはEメール: info@seca.co.jp

12.2 機能/作動モード


機能	作動モード			
	Basic (ベーシック)	Advanced (アドバンス)	Expert (エキスパート)	Service (サービス)
測定				
BMI/BSAの自動計算	・	・	・	・
体重測定	・	・	・	・
ID (使用者/患者) の登録 ^a	・	・	・	・
身長の手動入力	・	・	・	・
身長測定	・	・	・	・
測定結果の常時表示 (保持)	-	・	・	・
測定結果の送信 ^a	・	・	・	・
ウエストの入力	-	・	・	・
追加重量を差し引く (風袋引き)	-	・	・	・
追加重量の永久保存 (プリセット風袋)	-	・	・	・
環境設定				
測定結果のアナウンスをオン/オフにする (結果)	-	-	・	・
患者への指示のアナウンスをオン/オフにする (測定)	-	-	・	・
取扱説明書のPDF版にアクセスする (QRコード)	-	・	・	・
自動クリアー機能: 時間の長さの設定	-	-	・	・
自動保持機能のオン	-	・	・	・
抑制機能の設定 (体重計が患者の動きに反応する感度)	-	・	・	・
日付表示形式の設定	-	・	・	・
ディスプレイの明るさの設定	-	・	・	・
ディスプレイ言語の設定	-	・	・	・
度量衡メータステータスの読み取り	-	・	・	・
GAL (測位) 値の読み取り	-	・	・	・
製品をWi-Fiネットワークに接続する (WPS)	-	-	・	・
製品をWi-Fiネットワークに接続する (手動)	-	-	・	・
製品をWi-Fiネットワークに接続する (seca connect 103)	-	-	・	・
IPアドレスの入力	-	-	・	・
音声ガイダンスの音量設定	-	・	・	・
メニューを呼び出す	-	・	・	・
サービス機能 ^b	-	-	-	・
超音波身長測定用シグナル音のオン/オフ	-	-	・	・
音声ガイダンス用言語の選択	-	・	・	・
スタンバイ時間の設定	-	・	・	・
超音波身長測定の校正	-	-	・	・
BMI/BSA算定の切替とウエスト入力	-	-	・	・
工場設定の復元	-	-	・	・
Wi-Fiモジュールのオン/オフ	-	-	・	・

a. 電子カルテシステムまたはソフトウェア seca analytics 125 (ソフトウェア seca connect 103 経由で) に接続されている製品

b. 有資格のサービス技術者専用機能

12.3 一般的な技術データ

一般的な技術データ	
運転時の環境条件 ・ 温度 ・ 気圧 ・ 湿度	+10° C ~ +40° C 700 hPa ~ 1060 hPa 20% ~ 80% で結露なし

一般的な技術データ	
保管時の環境条件 <ul style="list-style-type: none"> 温度 気圧 湿度 最低保管温度から動作温度までのウォームアップ時間 <ul style="list-style-type: none"> - 周囲温度 20 ° C の場合: 8 時間 - 周囲温度 20 ° C および結露あり: 24 時間 最高保管温度から動作温度までの冷却時間 (周囲温度 20 ° C の場合) 8 時間 	-10 ° C ~ +65 ° C 700 hPa ~ 1060 hPa 0 % ~ 95 % で結露なし
輸送時の環境条件 <ul style="list-style-type: none"> 温度 気圧 湿度 	-10 ° C ~ +65 ° C 700 hPa ~ 1060 hPa 0 % ~ 95 % で結露なし
電源供給: ACアダプター <ul style="list-style-type: none"> 電源電圧 最大消費電力 保護絶縁された製品、保護等級II (IEC 60601-1) (ヨーロッパ) 	12 V 最大 1.5 A 
電源電圧	100 V - 240 V
電源周波数	50 Hz - 60 Hz
消費電力	最大 18 W
IEC 60601-1: 電子医療機器、タイプBF (ヨーロッパ)	
保護等級は IEC 60529 準拠 (ヨーロッパ)	IP 21
動作モード	継続運用
規制 (EU) 2017/745 (ヨーロッパ) 準拠の医療機器: <ul style="list-style-type: none"> 生体インピーダンス測定なしの製品 	測定機能付きのクラス I
日本国内 <ul style="list-style-type: none"> 生体インピーダンス測定なしの製品 	精度等級: 3 級
IEC 60601-1 (ヨーロッパ) 準拠の適用部品: 体重計 seca 655 : ハンドレール seca 455 :	マルチ機能ディスプレイ、ガラスプレート 上部手すりバー
ポート: <ul style="list-style-type: none"> USB Wi-Fi LAN 内部バスシステム/マルチ機能ディスプレイ 	USB 2.0、最大 500 mA IEEE 802.11b/g/n/e/i IEEE 802.3u seca デバイスバス (SDB)
最小重量 (音声ガイダンスと共に測定プロセスが作動)	0.5 kg

12.4 外形寸法、重量

外形寸法、重量	
ハンドレール付き体重計	
外形寸法 <ul style="list-style-type: none"> 奥行 幅 高さ 	653 mm 801 mm 1280 mm
自重量	約 25 g
超音波式身長計付き体重計	
外形寸法 <ul style="list-style-type: none"> 奥行 幅 高さ 	614 mm 600 mm 2387 mm
自重量	約 22 kg

17-10-07-654-016_02-2021B

外形寸法、重量	
ハンドレールおよび超音波式身長計付き体重計	
外形寸法	
・奥行	650 mm
・幅	801 mm
・高さ	2387 mm
自重	約29 kg

12.5 体重測定の詳細

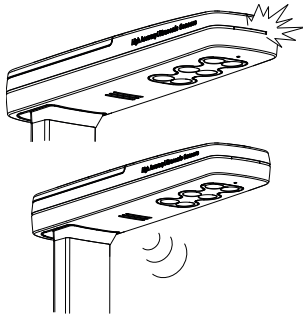
体重測定の詳細	
指令2014/31/EUに準拠した検定 (ヨーロッパ)	クラスIII
精度等級 (日本)	3級
型式承認番号 (日本)	D209号
最大測定体重	
・ 体重測定領域1	150 kg
・ 体重測定領域2	300 kg
最小荷重	
・ 体重測定領域1	1 kg
・ 体重測定領域2	2 kg
目盛	
・ 体重測定領域1	50 g
・ 体重測定領域2	100 g
風袋範囲	300 kgまで
初回検定時の精度	
・ 体重測定領域1 : 0 kg ~ 25 kg	± 25 g
・ 体重測定領域1 : 25 kg ~ 100 kg	± 50 g
・ 体重測定領域1 : 100 kg ~ 150 kg	± 75 g
・ 体重測定領域2 : 0 ~ 50 kg	± 50 g
・ 体重測定領域2 : 50 ~ 200 kg	± 100 g
・ 体重測定領域2 : 200 ~ 300 kg	± 150 g

12.6 技術データ、超音波身長測定

測定技術上のデータ

技術データ、身長測定、超音波	
・ 測定範囲、標準	60 cm – 220 cm
・ ハンドレール/BIA/ハンドレールを使用した場合の測定範囲	100 cm – 220 cm
・ 目盛	1 mm
精度:	± 5 mm
測定範囲 : 100 - 200 cm	
環境条件: 20 ° C、無風、測定機器の周辺に障害物なし	

音声出力および音響信号



製品は音響/視覚信号および音声出力で測定プロセスをサポートします。

次の表は、製品の信号および音声出力の概要を、測定プロセスに沿った順番で示しています：

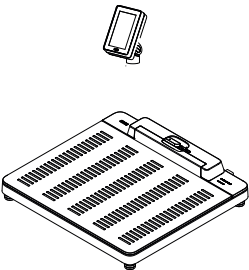
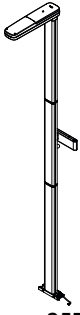

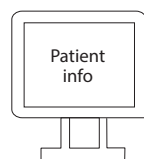
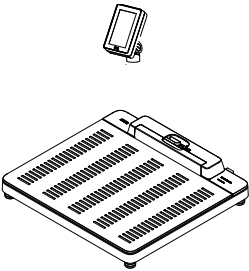
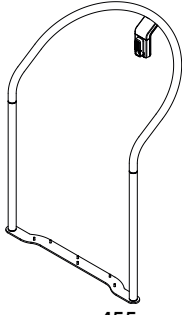
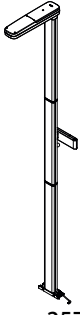

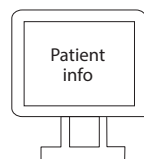
信号/音声出力	意味
超音波ヘッドのLED「動作状態」が常時点灯 「まっすぐ立って、前を見てください。」	本製品の測定準備完了 患者への指示
超音波ヘッドのLED「動作状態」が消灯 「動かないでください。測定を開始します。」	測定プロセス実行 患者への指示
短いシグナル音	測定プロセス実行
長いシグナル音	測定プロセス完了
「あなたの体重は (...)キログラムです。あなたの身長は (...)センチメートルです。あなたのBMIは (...) です。」	測定結果のアナウンス
「測定が終了しました。測定台から降りてください。」	患者への指示

13. オプションの付属品および交換部品

付属品/交換部品	商品番号
ACアダプター: 100~240 V~/ 50~60 Hz、12 V=/ 1.5 A / 18 W	68 32 10 272
バーコードスキャナー	info@seca.co.jp までお問い合わせください
スキャナーホルダー-seca 463	463 0000 009
「パンダ」seca 459	459 0000 009
ハンドレール	参照 → 互換性のあるseca製品、64ページ
身長計	
環境設定ソフトウェア	
評価ソフトウェア	

14. 互換性のあるSECA製品

体重計	ハンドレール	身長計	環境設定ソフトウェア	電子カルテシステム ^a 評価ソフトウェア
<p>seca 655 655 7021 099</p>	<p>seca 455 455 0001 009</p>	-	<p>seca connect 103</p>	<p>電子カルテシステム seca analytics 125</p>

体重計	ハンドレール	身長計	環境設定ソフトウェア	電子カルテシステム ^a 評価ソフトウェア
 <p>seca 655 655 7021 099</p>	-	 <p>seca 257 257 1714 009</p>	 <p>seca connect 103</p>	 <p>電子カルテシステム seca analytics 125</p>
 <p>seca 655 655 7021 099</p>	 <p>seca 455 455 0002 009</p>	 <p>seca 257 257 1714 009</p>	 <p>seca connect 103</p>	 <p>電子カルテシステム seca analytics 125</p>

a. 電子カルテの取り扱いはございません。

電子カルテシステムとの互換性/連携(別途有償)に関するご質問は、secaサービスまでお問い合わせください。

15. 廃棄処分



この製品は家庭ゴミで廃棄しないでください。この製品は、電子機器廃棄物として適切に廃棄してください。各自治体の規定を遵守してください。その他の情報は、こちらにお問い合わせください。

info@seca.co.jp

16. 保証について

製品の瑕疵については納品日より1年間の保証期間が適用されます。ただし、電池（充電電池）、ケーブル、ACアダプター、といった付属品は保証対象外となります。

本製品が国外にある場合、往復の運送費はお客様のご負担になります。運搬中の損害において、運搬に純正の梱包一式を使用し、適切な梱包・固定されている場合のみ、補償請求の対象となりますので、すべての梱包材は保管しておいてください。

seca テクニカルスタッフでない人が本製品を開けた場合は、保証は失効となります。

保証請求の際は、製品をお買い上げいただいた販売代理店までご連絡ください。

なお、不具合の原因が外的要因である場合は、保証対象外となり、有償修理となります。予めご了承くださいませ。

17. 適合宣言書

これにより seca gmbh & co. kg は、本製品が、適用される欧州指令および規則の諸規定に準拠していることを宣言します。適合宣言書の全文は：www.seca.com をご覧ください。

Medical Measuring Systems and Scales since 1840

seca gmbh & co. kg
Hammer Steindamm 3–25
22089 Hamburg · Germany
T +49 40 20 00 00 0
F +49 40 20 00 00 50
E info@seca.com

seca operates worldwide with headquarters
in Germany and branches in:

[seca france](#)
[seca united kingdom](#)
[seca north america](#)
[seca schweiz](#)
[seca zhong guo](#)
[seca nihon](#)
[seca mexico](#)
[seca austria](#)
[seca polska](#)
[seca middle east](#)
[seca suomi](#)
[seca américa latina](#)
[seca asia pacific](#)
[seca danmark](#)
[seca benelux](#)
[seca lietuva](#)

and with exclusive partners in
more than 110 countries.

All contact data at seca.com